

第2章

「あんしん期限」を認証された「生活応援食品」の普及に関する
社会心理学的検証

1. 実施されたモデル事業と現地調査の概要

実施されたモデル事業の概要は下図のとおりである。

- ① 賞味期限が近くなり、入れ替えの時期が迫った非常食等を行政、企業、食品メーカー、卸売業者、小売店等（以下、ドナー）から、日本非常食推進機構（以下、申請者）が提供申し込みを受ける。
- ② 公益社団法人日本食品衛生協会へ検査を依頼する。
- ③ 結果通知を受け、損保会社と保険契約を締結する。
- ④ フードバンク、子ども食堂等の事業者（以下、事業者）が申請者へ寄付を申し込む。
- ⑤ 申請者から事業者へ「あんしん検査済み」ステッカー（以下、ステッカー）を送付する。
- ⑥ 事業者が、提供される食品にステッカーを貼り付ける。
- ⑦ ステッカーが貼られた「生活応援食品」を最終受益者に寄付する。

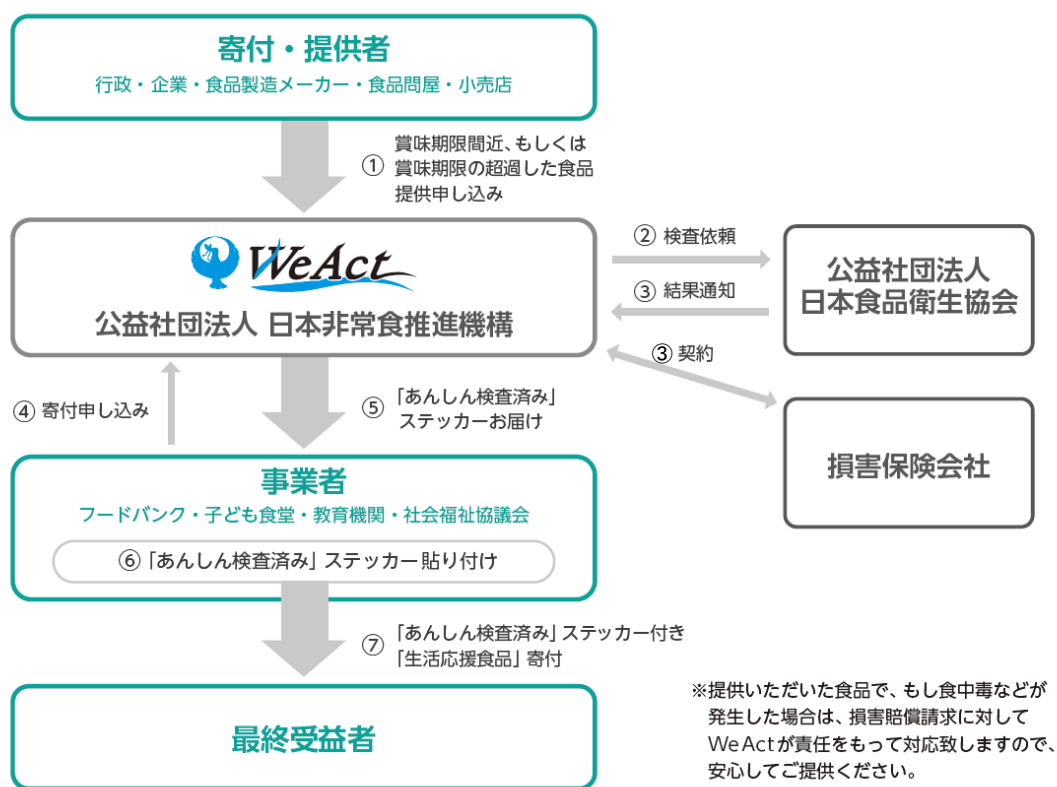


図 1 モデル事業の概要

ステッカーは、下図（上段）の二種類を用意した。それぞれ賞味期限から 60 日（左）、90 日は食べられることを示している。これを賞味期限の近くに張り付けることで、賞味期限が切れても食べられることを最終受益者が認識できるような工夫がなされた。



図 2 「あんしん検査済み」ステッカー（上）と「生活応援食品」（下）

本調査における設問事項（リサーチデザイン）の検討するため、このような実証事業の率直な感想を聞く目的で徳島県を中心に実施された配布イベントで現地調査を行った。またそれに先立ち、2021年7月21日に徳島市内のホテルで事業説明会を開催した（下図）。開催については、同年7月13日に徳島新聞朝刊の1面に、「備蓄食品に「使用期限」という見出しで報道されて説明会の告知もなされたため、当日は関係者と参加者らの間で、事業の目的や実施方法に関する詳細な確認作業が実施することができた。



図 3 事業説明会の様子

その後、実施された現地調査の概要と得られたサンプルは下表のとおり 811 件である。ただし、No. 11～13 は回答が難しいという要望があり、回答方法を変更したため²参考データとし、No. 1～10 の 658 を

分析対象とした。調査対象となったのは、各会場に参集した最終受益者と寄付にかかわる中間団体（フードバンク、子ども食堂、ライオンズクラブ（社会奉仕団体）等）や行政のスタッフである。

表 1 現地調査の実施概要

No.	日付	所在地	実施場所・実施団体等	調査方法	回収サンプル数
1	2021/8/21	徳島県	鳴門市役所前	対面調査	22
2	2021/8/22	徳島県	徳島市役所前	対面調査	34
3	2021/8/28	三重県	いなべ市役所前	対面調査	62
4	2021/9/25	徳島県	クレエール（子ども食堂）	対面調査	45
5	2021/10/中旬	徳島県	阿南市消費者協会	郵送法	94
6	2021/10/中旬	徳島県	徳島市消費者協会	郵送法	60
7	2021/10/中旬	徳島県	徳島県消費者協会	郵送法	100
8	2021/10/中旬	徳島県	小松島市消費者協会	郵送法	36
9	2021/10 月	徳島県	クレエール（子ども食堂） ³	対面調査	105
10	2021/10/中旬	徳島県	東みよし町消費協会	郵送法	100
小計					658
11	2021/10/16	三重県	子育てネットワーク いなこね	対面調査	15
12	2021/10/30	茨城県	NPO 法人 happy リレーいろいろ（子ども食堂）	対面調査	60
12	2021/10/6	愛知県	フードバンクのわみ	対面調査	78
合計					811

調査を実施する際、下図のように本実証事業の概要を分かりやすく図示したチラシを配布し、対面調査の場合は口頭でも取り組みを説明することで取り組み内容を理解してもらうようにした。

³ 回答を 5 件法から 3 件法に変更した。

³ 2021.10 月の徳島県クレエールの対面調査は、クレエールが子ども食堂や配布をされた際に、10 月を通じてアンケート回収した。

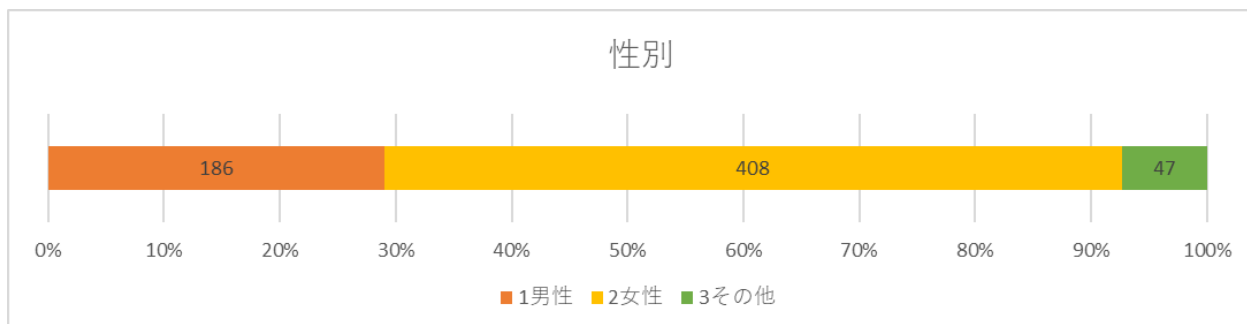


図 4 現地調査の説明に利用したイラスト（上）と現地調査の様子（下）

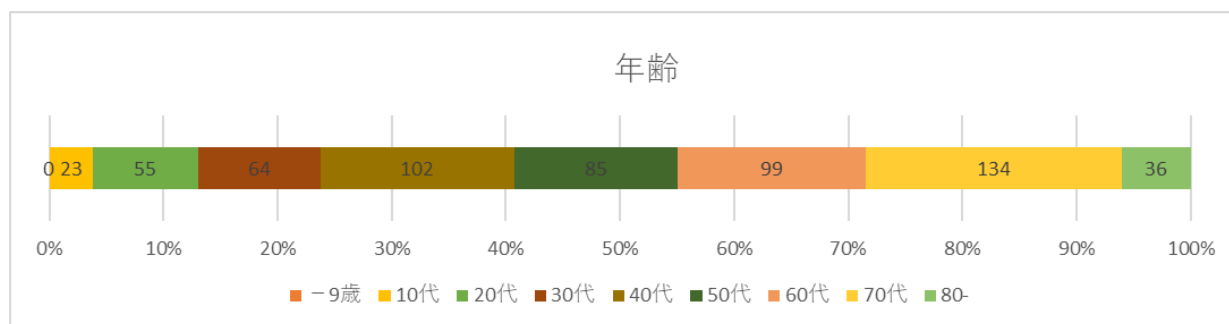
2. 現地調査

(1) サンプル概要

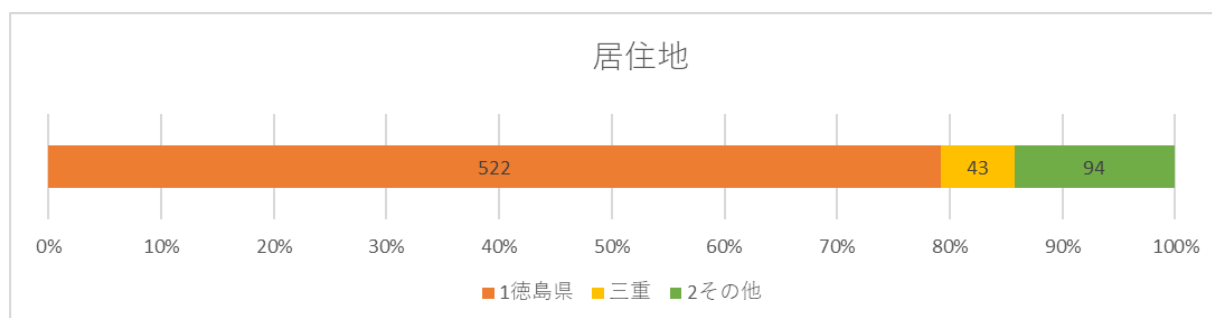
658 件の回答者の概要は、約 64%が女性で、約 7%が未回答という偏りがあった。



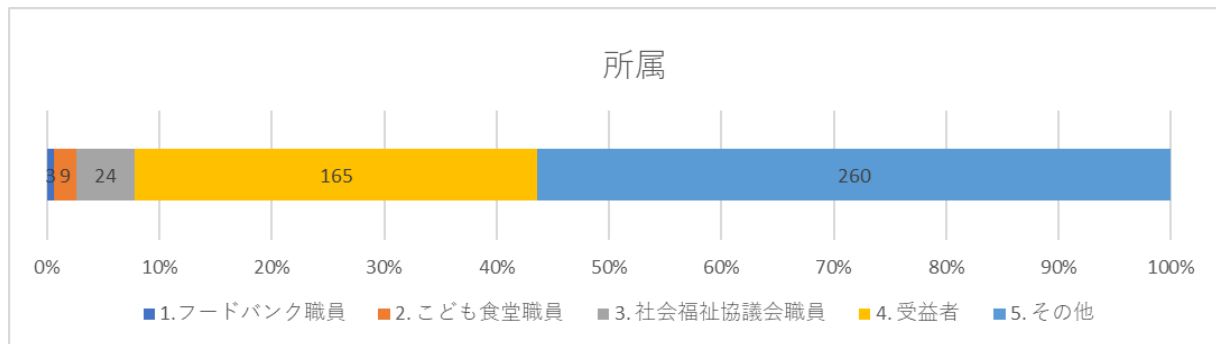
一方、年齢に関しては、子どもの最終受益者も多かったため、各世代であまり偏りは見られなかった。最も多かったのは 70 代で約 22% (N=134)、次いで 40 代 (17%、N=102) であった。9 歳以下はゼロであった。



居住地は約 79%が徳島県の方のサンプルである。

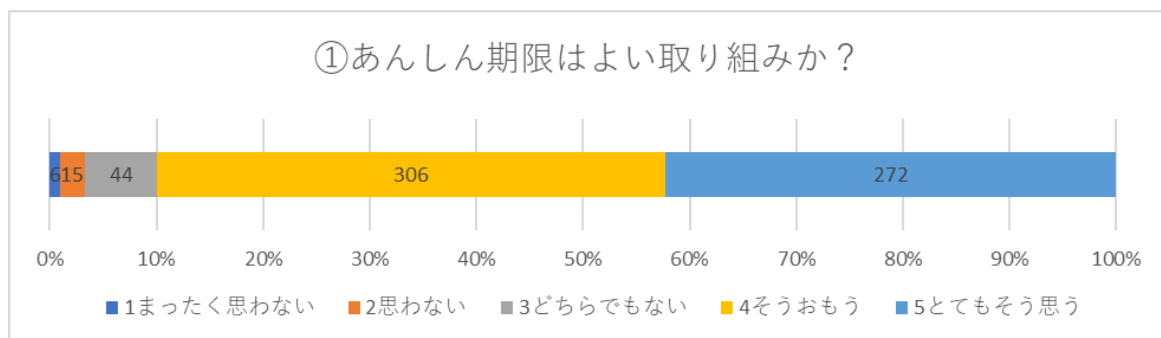


回答者の所属先は、ライオンズクラブ（社会奉仕団体）や行政マンなどの「その他」が過半数を占めたが、次いで約 36%が最終受益者であった。

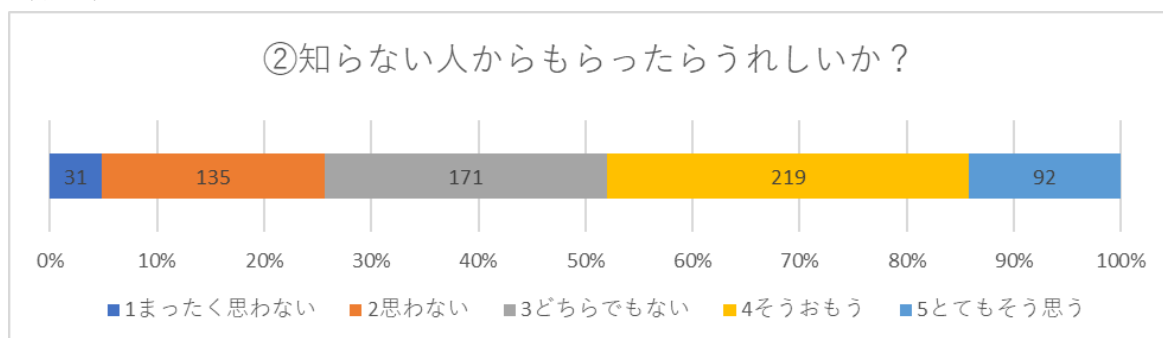


(2) 本事業のイメージ

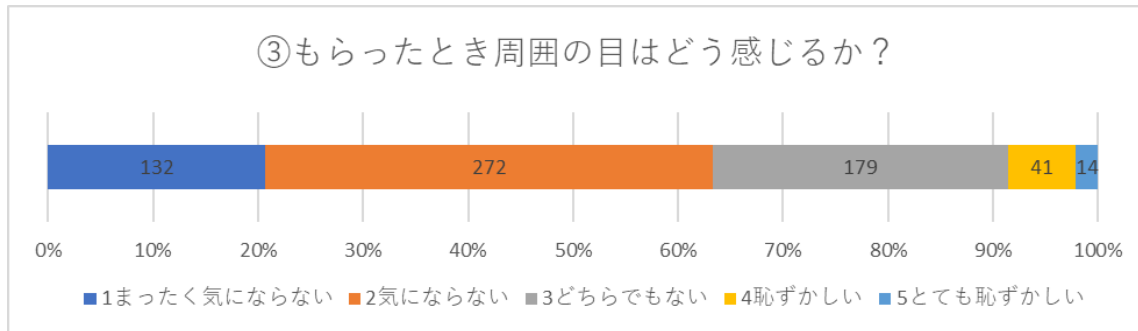
本事業のあんしん期限の設定について、良い取り組みかどうかを聞いたところ、有効回答数 643 のうちの 272 件 (42%) が「とてもそう思う」、306 件 (48%) が「そう思う」とポジティブな回答を示した。



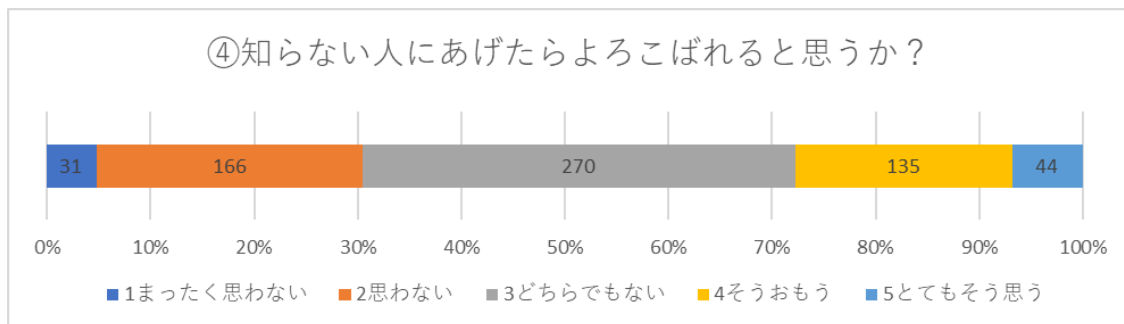
しかし、あんしん期限付きの食品を知らない人からもらったと仮定すると、うれしいと感じる人は、有効回答数 648 のうちの 219 件 (34%) が「そう思う」、92 件 (14%) が「とてもそう思う」とポジティブな回答が半減した。



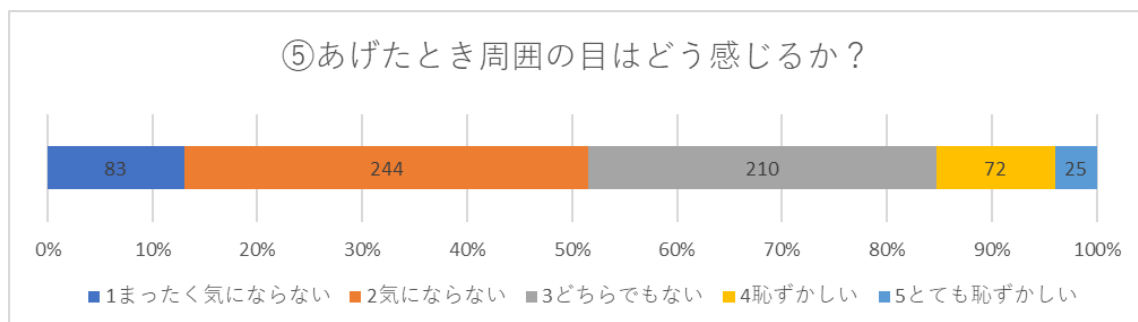
また、同様の仮定で周囲の目を気にするかを尋ねたところ、有効回答数 638 のうち、「気にならない」272 件 (43%)、「まったく気にならない」132 件 (21%) と、過半数が気にならないと回答した。一方で、恥ずかしい 41 件 (6%)、とても恥ずかしい 14 件 (2%) と、一定の人数が恥ずかしさを感じていることが示された。なお、最終受益者 (有効回答数 159) だけに限定して集計すると、恥ずかしい 14 件 (9%)、とても恥ずかしい 13 件 (8%) と比率は若干上がる。



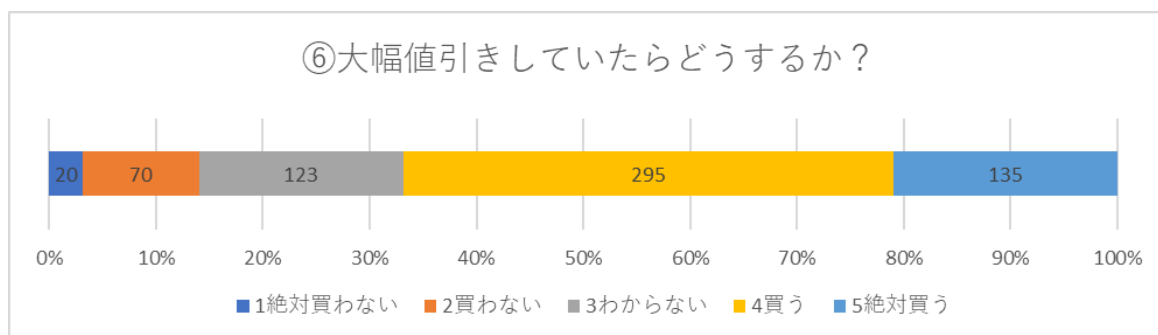
食品を寄付する立場になったと仮定し、あんしん期限付き食品をあげて喜ばれると考える人は、有効回答数 646 のうち、135 件（21%）が「そう思う」、44 件（7%）が「とてもそう思う」とポジティブな回答を示したのは 28%にとどまった。「どちらでもない」が 270 件（42%）と半数近くを占め、「そう思わない」166 件（26%）、「まったく思わない」31 件（5%）とネガティブな感情が、ポジティブな感情を上回っていることが示唆された。



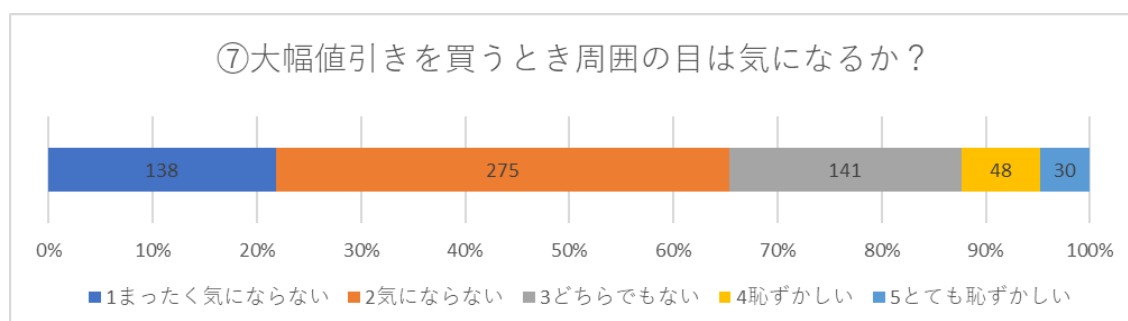
寄付する立場であんしん期限付き食品渡すとき、有効回答数 634 のうち、72 件（11%）が「恥ずかしい」、25 件（4%）が「とても恥ずかしい」との回答が示された。周囲の目はさほど気にならないことが示唆された。



あんしん期限付き食品を、寄付ではなく、大幅な値引き販売されていたと仮定した場合の感想を聞いた。有効回答数 643 のうち、295 件（46%）が「買う」、135 件（21%）が「絶対買う」と、大半がポジティブな反応を示した。

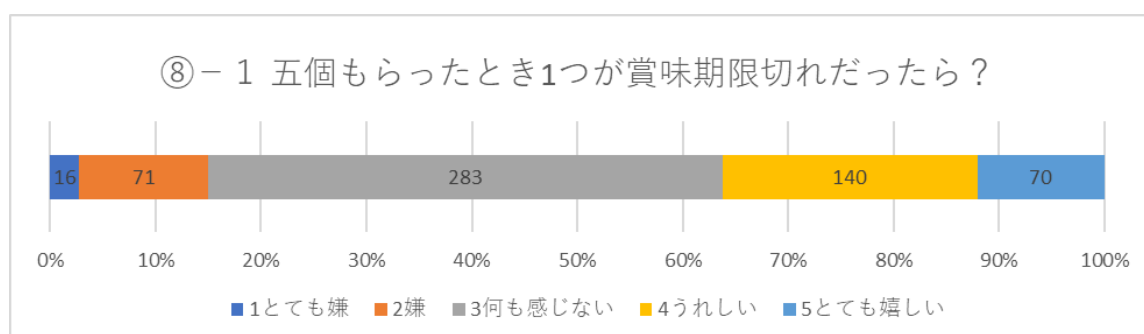


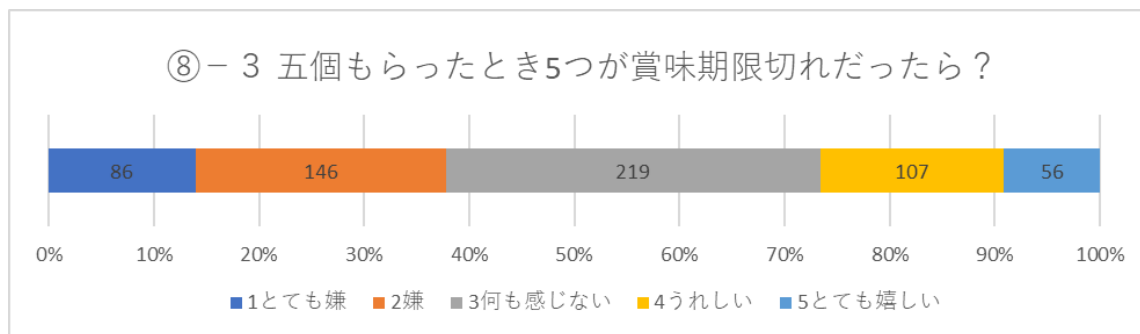
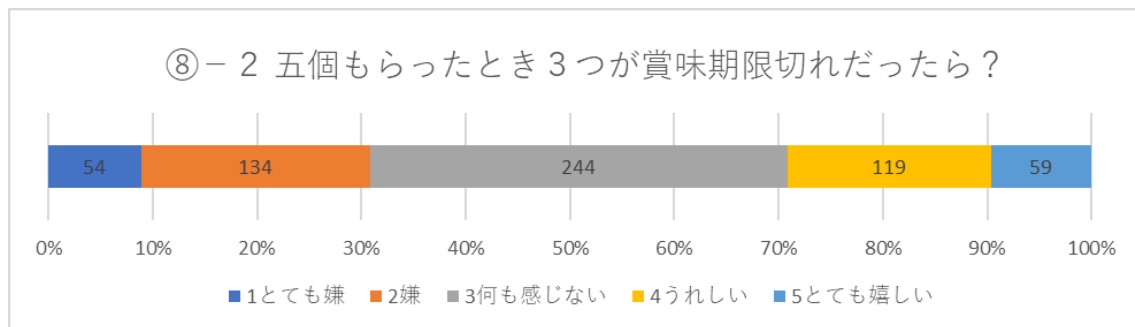
一方、周囲の目を気にすると回答したのは少数派であった。



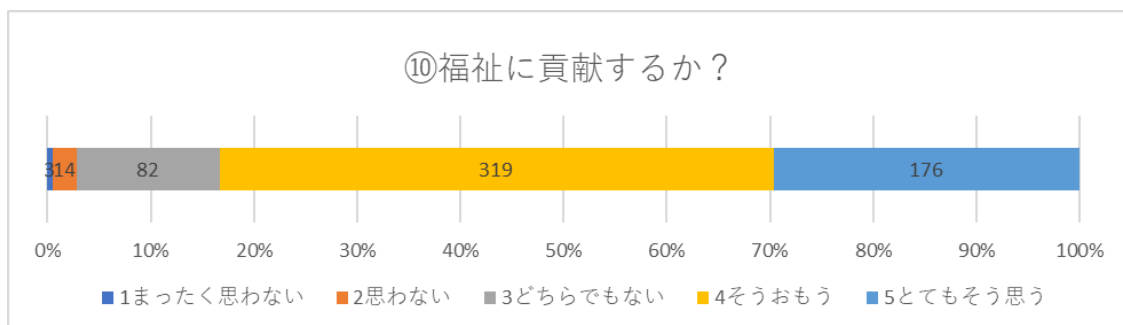
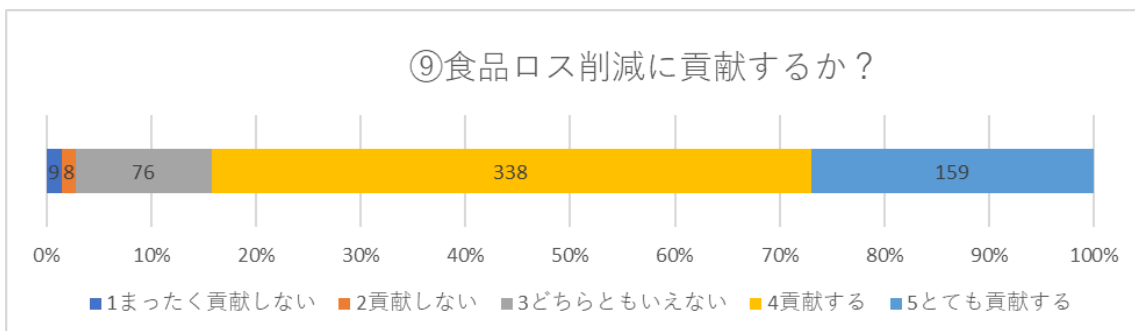
あんしん期限は、通常期限が切れる前に張り付け、万が一期限が切れても通常商品の取り扱いと変わらず業務ルーチンを変更しなくて済む業務効率化を念頭に置いている。そのため、実際に寄付された場合にどれくらいの割合が期限切れ（あんしん期限内）だったら嫌悪感を抱くのかを検証した。

下図の通り、その割合が多いほど嫌悪感を抱く割合が増え、寄付された 5 つのうちすべて賞味期限切れだった場合、24%が「嫌」、14%が「とても嫌」と回答している。あんしん期限をつけたからといって、賞味期限が気にならなくなるわけではないことを示唆する結果となった。





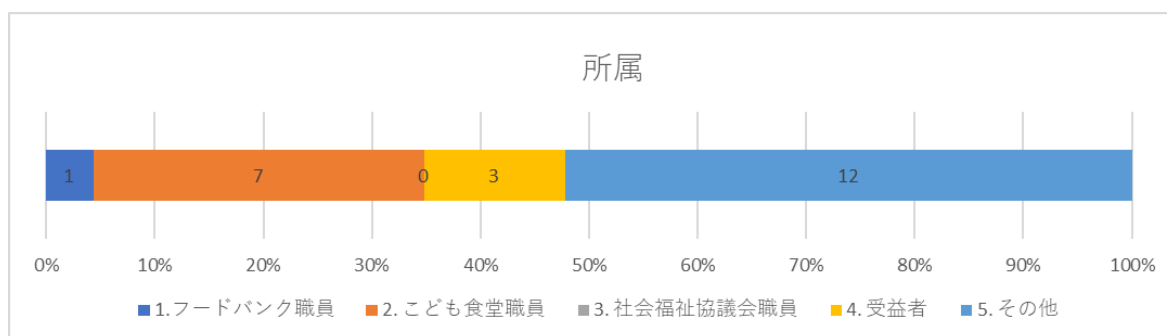
最後に、食品ロスの削減、福祉への貢献に関する率直な意見を聞いたところ、いずれも大半がポジティブな回答を示した。あんしん期限認証の取り組みは、社会活動としては認められる可能性が示された。



(3) 活動後の評価

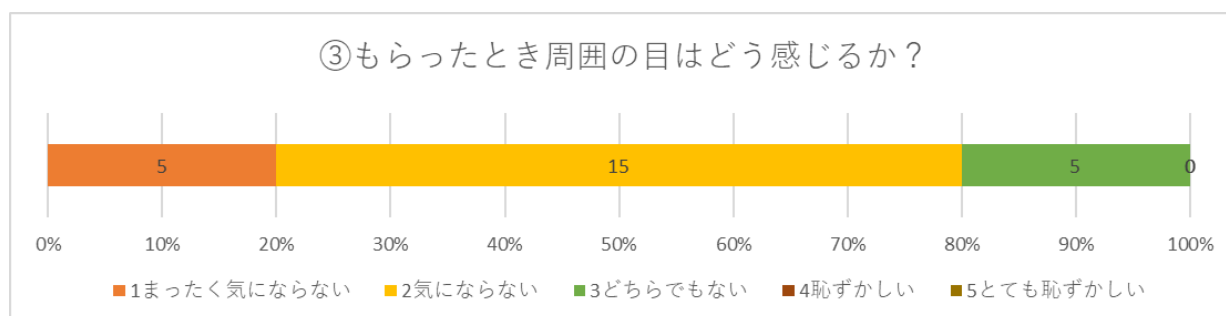
徳島県内での実証事業を通じて、評価がどのように変化したか再度アンケート調査を行った。2月4日にメールにて依頼し、2月10日を締め切りとして3団体にファックスと郵送により回収した。回収数は、徳島県消費者協会（N=6）、NPO 法人クレエール（N=11）、フードバンク徳島（N=8）に対し合計25件となった。

回答者属性は性別、年齢、居住地に関する大きな差はなかった。しかし、所属に関しては、最終受益者が12%と、8～10月に行った調査サンプル（以下、前回調査）と比較して大きく低下（36%）したため、その点は留意する必要がある。その他には、消費者団体やボランティアなどの非正規職員が含まれる。



あんしん期限に対する客観的な評価は、92%がポジティブに評価しており、前回調査①の評価（90%がポジティブ）を維持された。

知らない人から寄付された場合の感情としては、40%が嬉しいと感じたと回答した。前回調査②の46%と比較すると大差はなく、周囲の目が気になるかという問いについては、前回調査③の8%が恥ずかしいとネガティブ回答であったのに対して、活動後は0%であった。サンプルサイズが異なるため、安易な比較はできないが、実証事業において事業の実践と説明がなされたことにより、恥ずかしさについては印象が変わった可能性がある。社会実装においては、詳細な説明を繰り返すことによる解決もあり得る。



知らない人に寄付する場合については、喜ばれるかどうかについては変化が見られなかったものの、周囲の目については「恥ずかしい」が8%と、前回調査⑤の15%よりも半減した。

あんしん期限付き商品の購入については、周囲の目については恥ずかしいという回答は0%に減少した。また、寄付された食品5個のうちの賞味期限切れ食品の混入については、その割合が高ければ高いほど満足度が減る傾向は前回調査⑧と同様にみられた。食品ロス削減、福祉編の貢献についても前回調査⑨⑩と大差はなく、ともに76%がポジティブ回答をしている。

(4) 小括

あんしん期限の取組みは、そもそも「よいこと」としての印象、つまり先入観があり、食品ロス削減や福祉への貢献についても一定の評価が得られる可能性が高い。しかし、実際にそれを運用する段階では、もらう立場やあげる立場などの相違によって、その評価や感じ方が変化する可能性が示唆される。

サンプル数の違いや、最終受益者の意見が十分反映されないという意味で立場の違いなど、調査手法の問題はあるものの、実際の取組みのなかで詳細な説明を繰り返すことで最終受益者や周囲の目に対する懸念、つまり賞味期限切れ食品を寄付することへの抵抗感や恥ずかしさなどは徐々に解消する可能性はある。但し、本実証事業は、あくまでも賞味期限内での配布を目指しながら、万が一切れてしまった場合の予防措置としての仕組みであり、賞味期限が切れたものを活用するというのは結果的にそうなったとしても、それは目的かすべきではない。将来的に賞味期限切れ食品への偏見がなくなればこの限りではないかもしれないが、少数混入する程度なら許されるのであって、すべてが賞味期限切れでも寄付できるものとは短期的には考えにくいことを認識すべきであろう。

3. 本調査の概要

現地調査の結果を踏まえ、配布者となる中間支援団体を中心に、期限切れの食品に対する社会心理学的にどのような感情を抱くのかを詳細に調査するため、本調査を実施した。

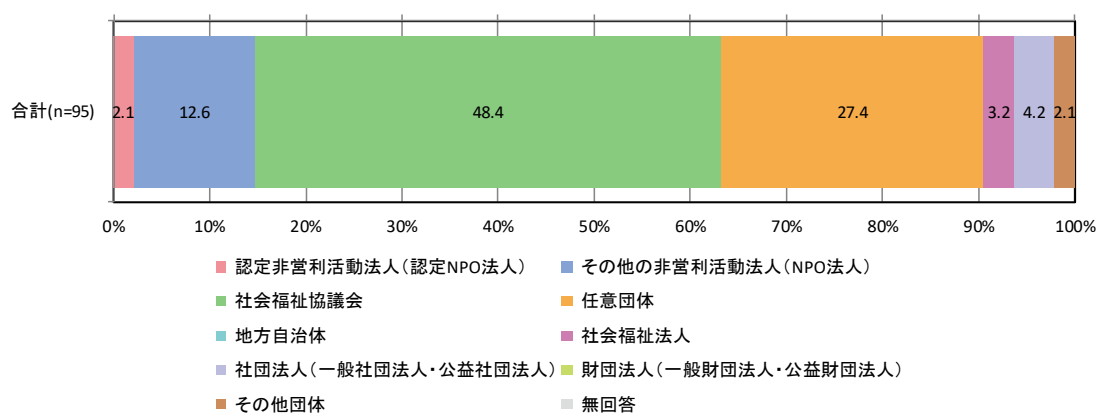
2022年1月に株式会社マイボイスの協力を得て、オンライン回答を前提に、手紙による依頼（回答先のリンクを記載）とハガキによる督促（いずれも郵送）によるWebアンケート調査を実施した⁴。対象は、全国の157件の中間支援団体である。

1月24日に依頼状の発送とアンケートサイトの開設をスタートしたが、一部の回答者が次ページに進めないというトラブルが発生したため、1月31日(月)16時～16時20分にかけてアンケートの編集を実施した⁵。また、2月7日(月)16時過ぎに、督促のはがきを郵便局への持ち込みを完了した。なお同日2月7日(月)18時時点での回収件数は78件であった。その後、2月16日にPCまたはスマートフォンでのアンケートサイトを閉鎖、期日までに95団体から回答が得られた（N=95）。

(1) サンプル概要と活動状況

下図の通り、95件の回答者のうち、48.4%が社会福祉協議会、27.4%が任意団体となった。認定NPO法人は2.1%にとどまった。

Q1. 活動を担う貴団体の法人格をお教えてください。



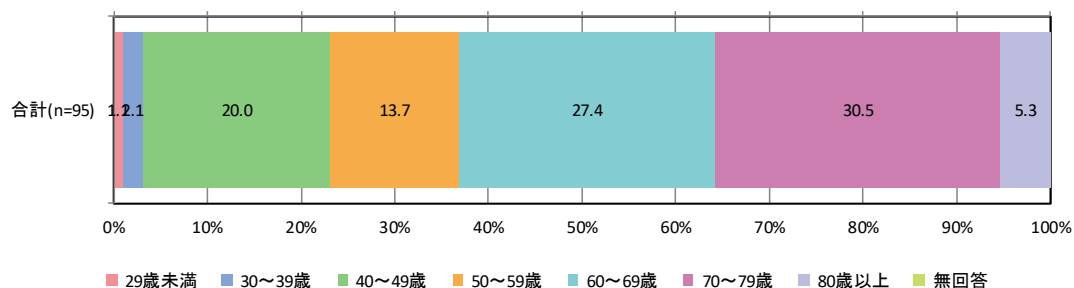
⁴ スケジュールは別添1参照。

⁵ Q8およびQ9で「有給スタッフがゼロを選択できないため、選択必須制御によりページを進むことができない」という連絡が事務局に入った。そこで「※有給スタッフ数が0人の場合は選択肢を選択せずお進みください」と表示をさせることで判別できるようにシステム変更した。

団体の所在地については、最頻値が東京都（12.6%）、次いで三重県（9.5%）、愛知県（8.4%）、大阪府（8.4%）、福島県（8.4%）となった。三重県が、人口比で多いのは申請者の所在地が三重県であることが背景となっている。

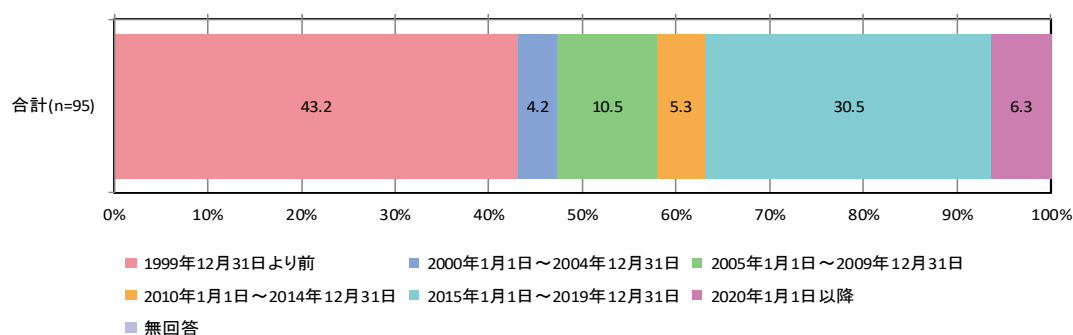
各団体の代表者の年齢は、過半数が60歳以上であった。若いマネージャは比較的少ない傾向が示唆された。代表者の性別は、66.3%が男性であった。

Q3. 代表者の満年齢(2022年1月1日時点)をお教えてください。



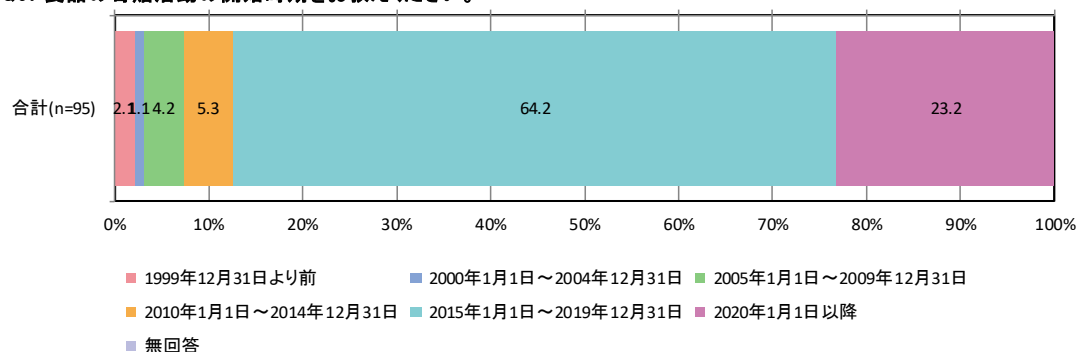
団体の設立年月日をきいたところ、43.2%が2000年代より前との回答があった。これは、活動の歴史が長い社会福祉協議会が48.4%であることと無関係ではないとみられる。

Q5. 団体設立時期をお教えてください。



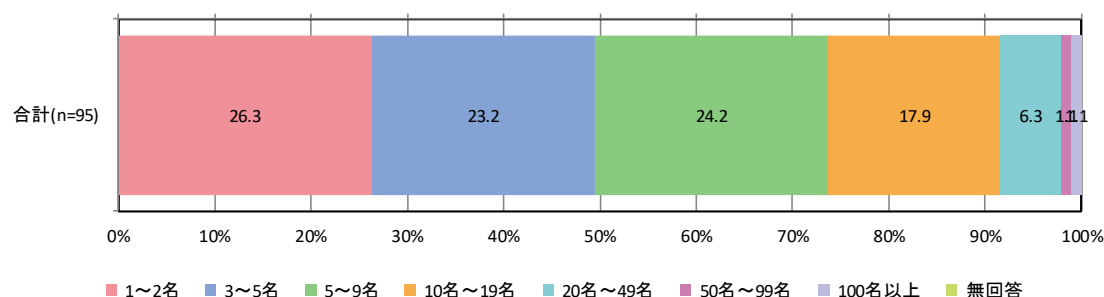
寄付を始めた時期をきくと、64.2%が2015年～2019年の間と比較的近年活動を開始した団体が多数を占めた。社会福祉協議会など古くから活動している団体が、この時期に新規事業として食品寄付に取り組み始めたケースも少なくないことが示唆された。

Q6. 食品の寄贈活動の開始時期をお教えてください。



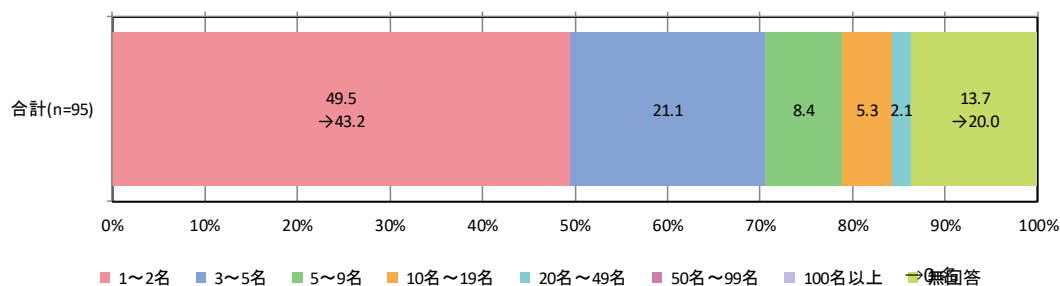
食品寄付に取り組みスタッフ数は、1～2名が最頻値（26.3%）であった。まだ比較的小規模な活動が数多くあるのが現状であるとみられる。

Q7. 食品の寄贈活動に取り組みスタッフ数（2022年1月1日時点）をお教えてください。



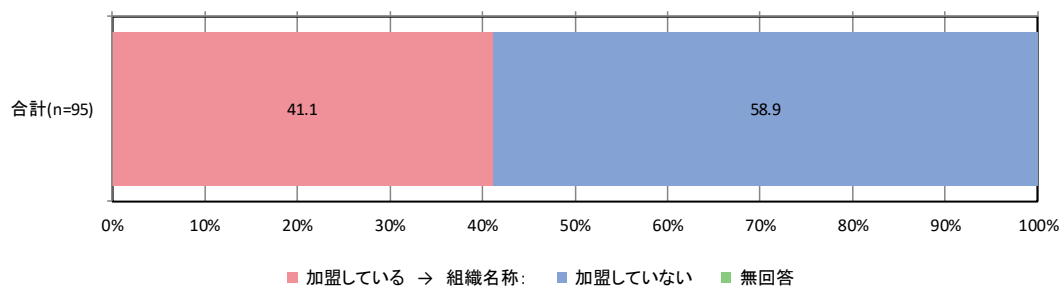
有給スタッフ数は、注5のとおりシステム不具合があったため集計しなおすと、95団体中、有給スタッフ0名が19団体（20.0%）、1～2名が41団体（43.2%）となった。小規模の団体が大半であることが示唆された。

Q8. Q7のスタッフ数のうち、有給スタッフ数（2022年1月1日時点）をお教えてください。【修正済】



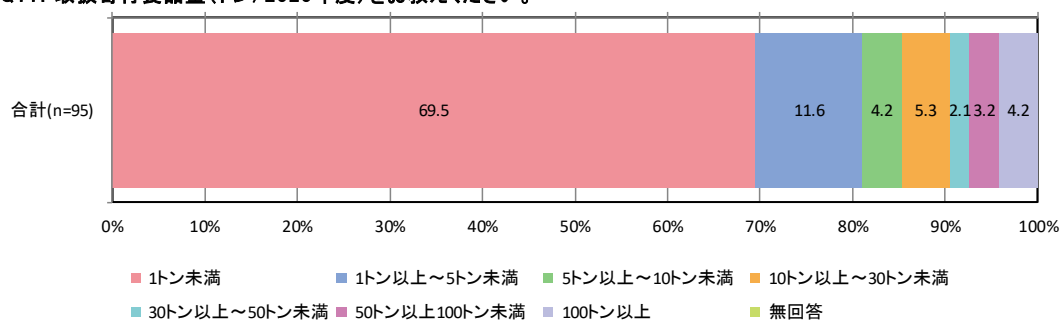
全国組織へ加盟しているのは、全体の41.1%（39件）であった。加盟先（複数回答）は、全国子ども食堂ネットワークむすびえ19件、全国社会福祉協議会11件、全国フードバンク推進協議会5件、公益社団法人日本非常食推進機構3件、全国食支援活動協力会1件であった。

Q10. 全国組織への加盟状況（2022年1月1日現在）をお教えてください。

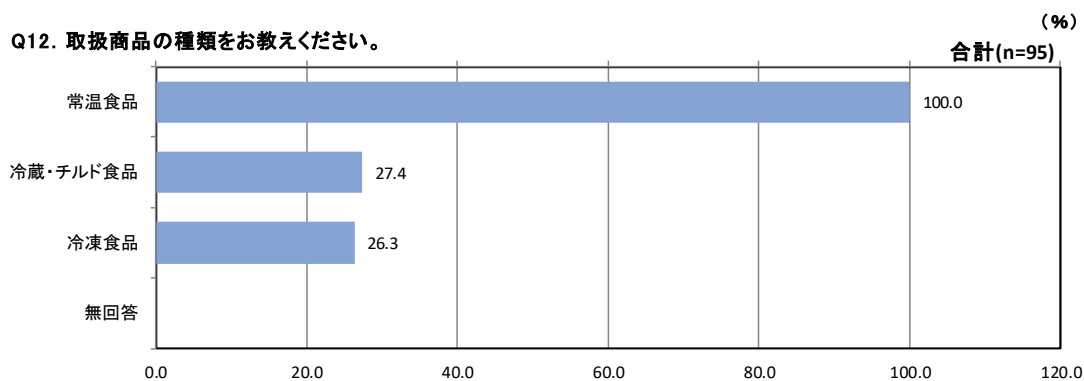


取り扱い食品寄付量については、69.5%（66 件）が 1 トン未満と回答し、100 トン以上は 4.2%（4 件）にとどまった。

Q11. 取扱寄付食品量(トン/2020年度)をお教えてください。



取り扱い食品の種類を複数回答で聞いたところ、27.4%が冷蔵・チルド食品、26.3%が冷凍食品を取り扱っていた。

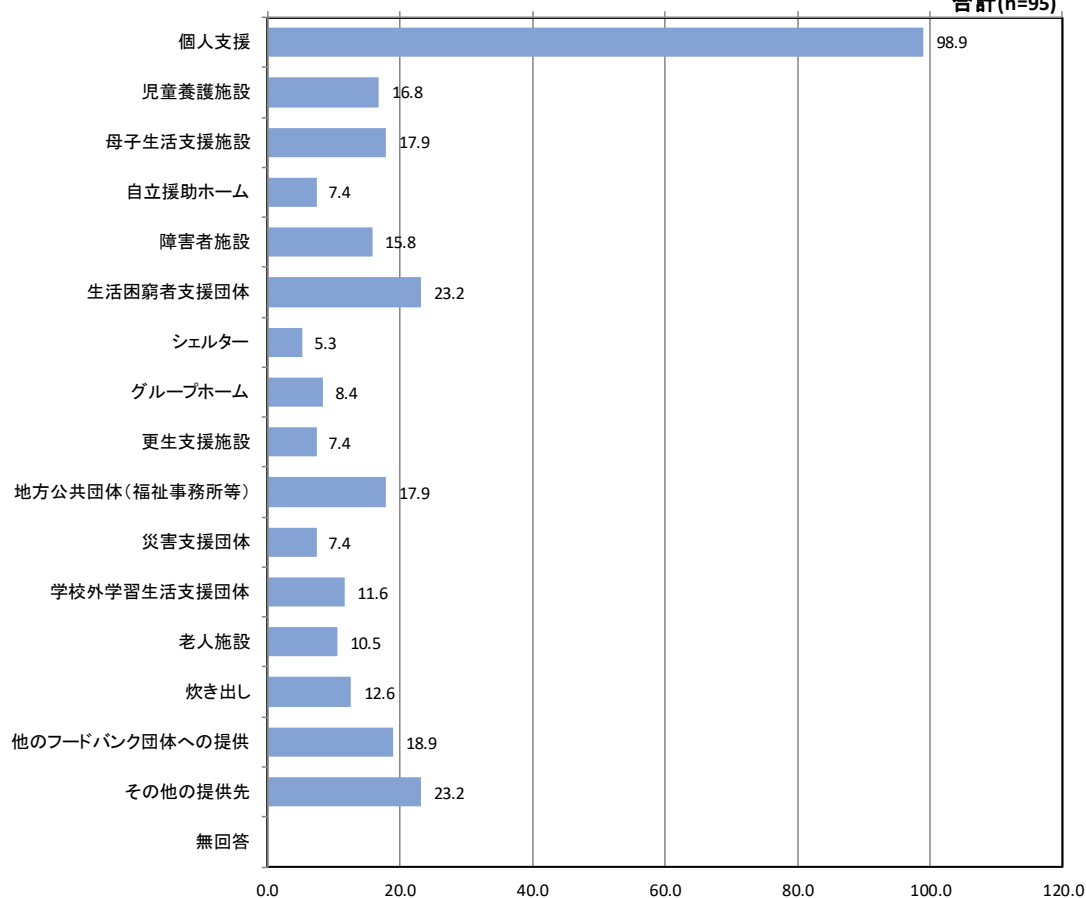


食品の寄付先を複数回答で聞いたところ、その 98.9%が個人支援を行っている。

Q13. 食品の寄贈先をお教えてください。

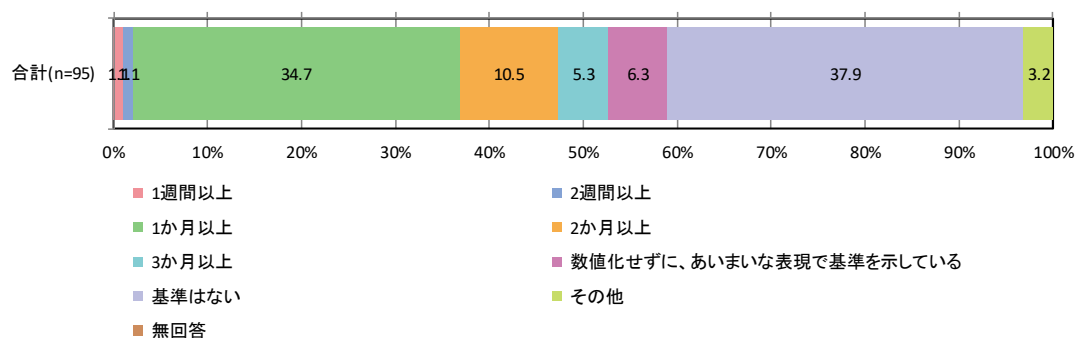
(%)

合計(n=95)



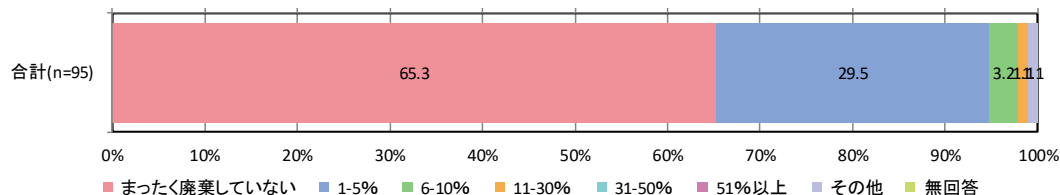
常温保存可能食品の賞味期限の受け入れ基準は、「基準はない」が最も多く 37.9%、次いで残存期限 1 か月以上が 34.7%であった。その他 3.2% (3 件) は、賞味期限内という基準だけを設けているということであった。数値化せずにあいまいな表現としている団体も 6.3%あり、最終受益者の有無によって受入れを調整している可能性が示唆された。

Q14. 常温保存可能な食品の賞味期限の受け入れ基準はどのように定めていますか？



受入れたものの廃棄してしまった割合を聞くと、66.3%が全く廃棄していないと回答し、次いで29.5%が1～5%と回答した。

Q15. 受け入れた寄付食品を廃棄する割合はどのくらいですか？



廃棄と受入れ基準の関係をみるために、Q14とQ15をクロス集計したところ、受入れ基準が厳しい（残存期間が長い）と廃棄が減るとか、緩かったり（短い）基準がなかったりすると廃棄が増えるというような相関はみられない。

Q14. 常温保存可能な食品の賞味期限の受け入れ基準はどのように定めていますか？

		Q14. 常温保存可能な食品の賞味期限の受け入れ基準はどのように定めていますか？									
		合計	1週間以	2週間以	1か月以	2か月以	3か月以	数値化せ	基準はな	その他	無回答
合計		95	1	1	33	10	5	6	36	3	-
Q15. 受け入れた寄付食品を廃棄する割合はどのくらいですか？	まったく廃棄していない	62	-	1	21	4	1	2	30	3	-
	1-5%	28	1	-	10	6	3	4	4	-	-
	6-10%	3	-	-	1	-	-	-	2	-	-
	11-30%	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	31-50%	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	51%以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-

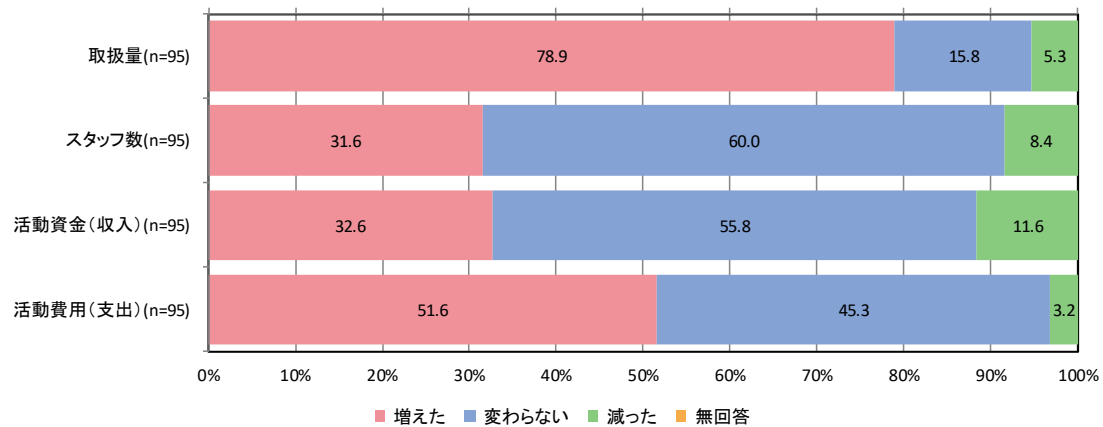
また、取扱量との関係を見ても、大量に取り扱うから廃棄が多いというような傾向はみられず、オペレーションの巧拙は規模には無関係であることが示唆された。

Q11. 取扱寄付食品量(トン/2020年度)をお教えてください。

		Q11. 取扱寄付食品量(トン/2020年度)をお教えてください。								
		合計	1トン未満	1トン以上	5トン以上	10トン以	30トン以	50トン以	100トン以	無回答
合計		95	66	11	4	5	2	3	4	-
Q15. 受け入れた寄付食品を廃棄する割合はどのくらいですか？	まったく廃棄していない	62	43	7	3	3	1	3	2	-
	1-5%	28	20	4	1	1	1	-	1	-
	6-10%	3	2	-	-	1	-	-	-	-
	11-30%	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	31-50%	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	51%以上	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	1	-

コロナ禍による活動の変化を聞いたところ、78.9%が取扱量は増えたと回答したにもかかわらず、スタッフ数は31.6%、活動資金は32.6%しか増えていない。活動費用は、51.6%が増えたと回答しており、コロナ禍により社会の期待は高まっているものの、その活動体制は疲弊する傾向にあることが示された。

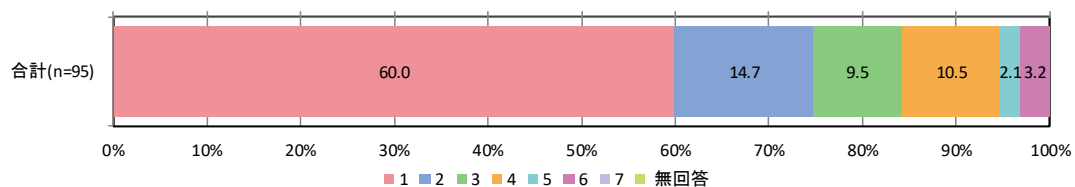
Q16. コロナ禍以前と比較して活動はどのように変化しましたか？



(2) 本事業の評価

本事業である安心検査済みステッカーを用いた寄付についての感じ方を聞いたところ、84.2%がポジティブ回答（1～3）をした。ネガティブ回答（5～6）は5.3%であった（7はゼロ）。

Q17. あんしん検査済みステッカーを用いた賞味期限切れ食品の寄贈について、貴団体はどのように感じますか？
【とてもよい 1-2-3-4-5-6-7 とても悪い】

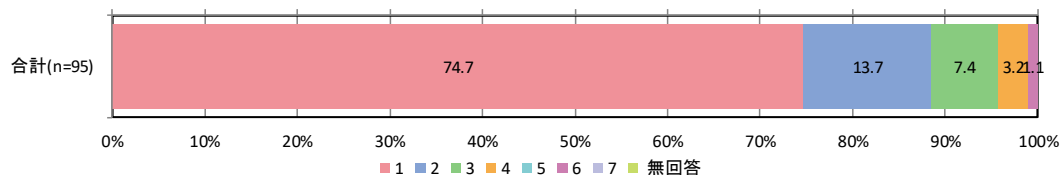


ネガティブ回答をした5団体のうち4団体については、下記のとおりコメントをいただいた。

取り扱い規模	コメント
100t 以上	食品を提供する際は、もし自分が受取る側だった場合に不快に思わないことを基準にして考えるようボランティアに伝えている。その点で、自分が、ステッカーが貼ってある食品を受け取ることを想定すると、食べられることが分かっているても良い気分はしないため、提供することにも躊躇がある。
1 トン未満	Q19～21 の設問項目について判断ができず、回答しかねます。
30 トン以上～ 50 トン未満	形容詞を並べた設問について、肯定的、否定的どちらにしてもしっくりこない言葉が多く、答えるのが難しかったです。賞味期限について、個人的には多少切れていたとしても食べています。が、支援を必要とする方にお渡しする時には、それを受け取った方がどのように感じるかについて、配慮が必要だと思います。一般に賞味期限が切れた食品のイメージがよくない中で、困窮者だからよいだろうという考え方は疑問です。
50 トン以上 100 トン未満	期限が切れる前に提供する仕組みを構築してほしい。

本事業のうち、PL 保険がついていることについては、ネガティブ回答は 1.1%（6 が 1 件）であった。

Q18. PL保険がついていることについて、貴団体はどのように感じますか？
【とてもよい 1-2-3-4-5-6-7 とても悪い】



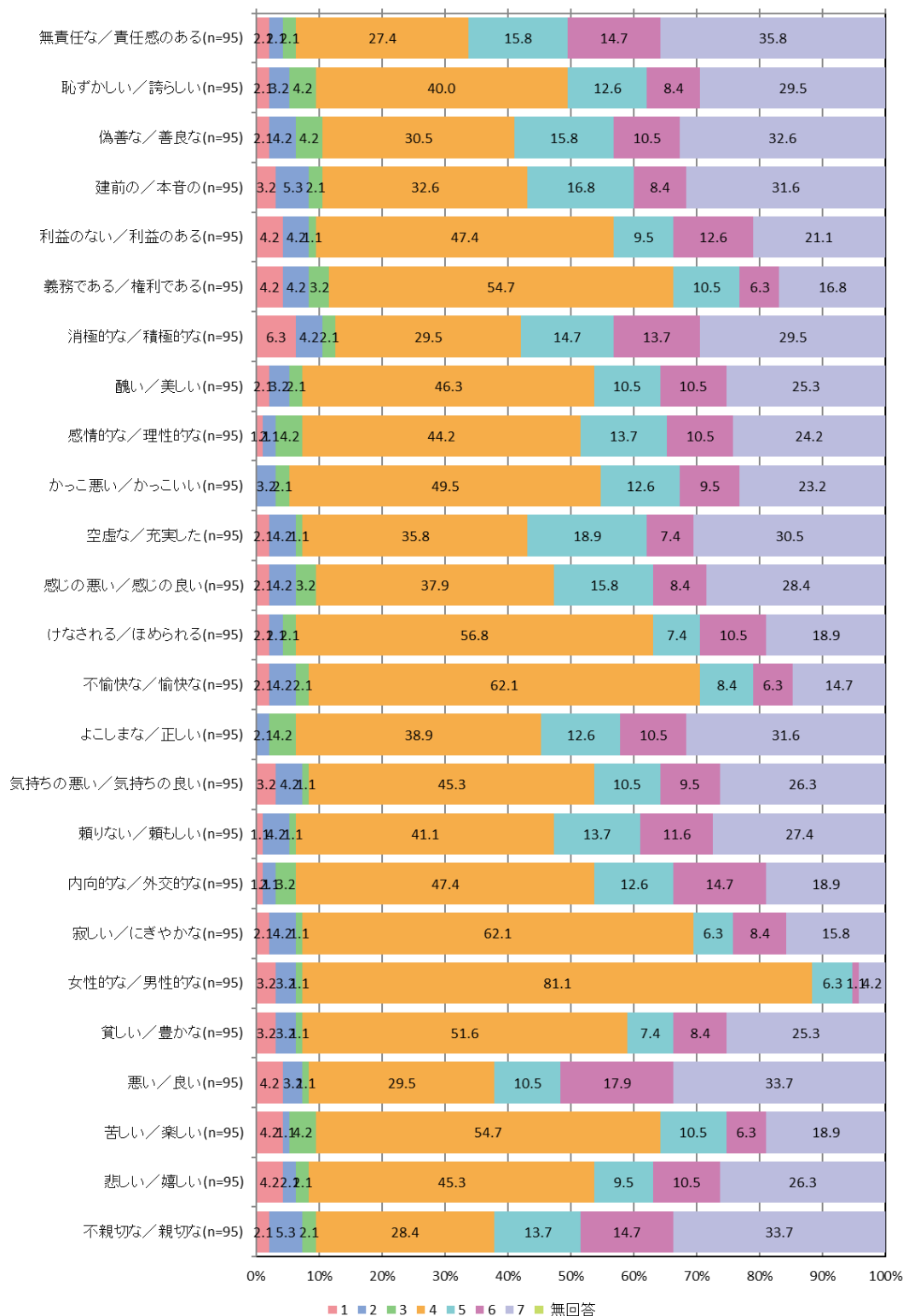
賞味期限切れの食品について、「自分なら気にしない」「他人に渡すのは失礼だ」という感情があり得る。そこで、期限切れ食品が混入する可能性のあるあんしん期限ステッカー付食品について、Q19：（個人や福祉団体等へ）寄付する場合、Q20（メーカー等から）寄付を受ける場合、Q21 寄付している他の団体を客観視した場合、以上のそれぞれについて 25 種類の対になる両極のイメージ（例えば、良い／悪い）を 7 件法により回答してもらった（下表）。

Q19. 寄付する場合	あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈することになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体が寄贈する場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）
Q20. 受け取る場合	あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を受け入れることになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体がメーカー等から受け取る場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）
Q21. 他の団体を客観視した場合	ほかの団体が何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈していますが、あなたの団体はこの取り組みには参加していません。ほかの団体の寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を他の団体が寄贈している場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）

回答を集計した結果は下記の通りであった。3つのケースのいずれもネガティブな回答が少数派で、7件法のうち中間にあたる「4」が目立ったのは、男性的／女性的、不愉快／愉快、けなされる／ほめられる、権利／義務であった。ポジティブな回答が多かったのは、責任感のある、良い、親切的な、などがあげられる。

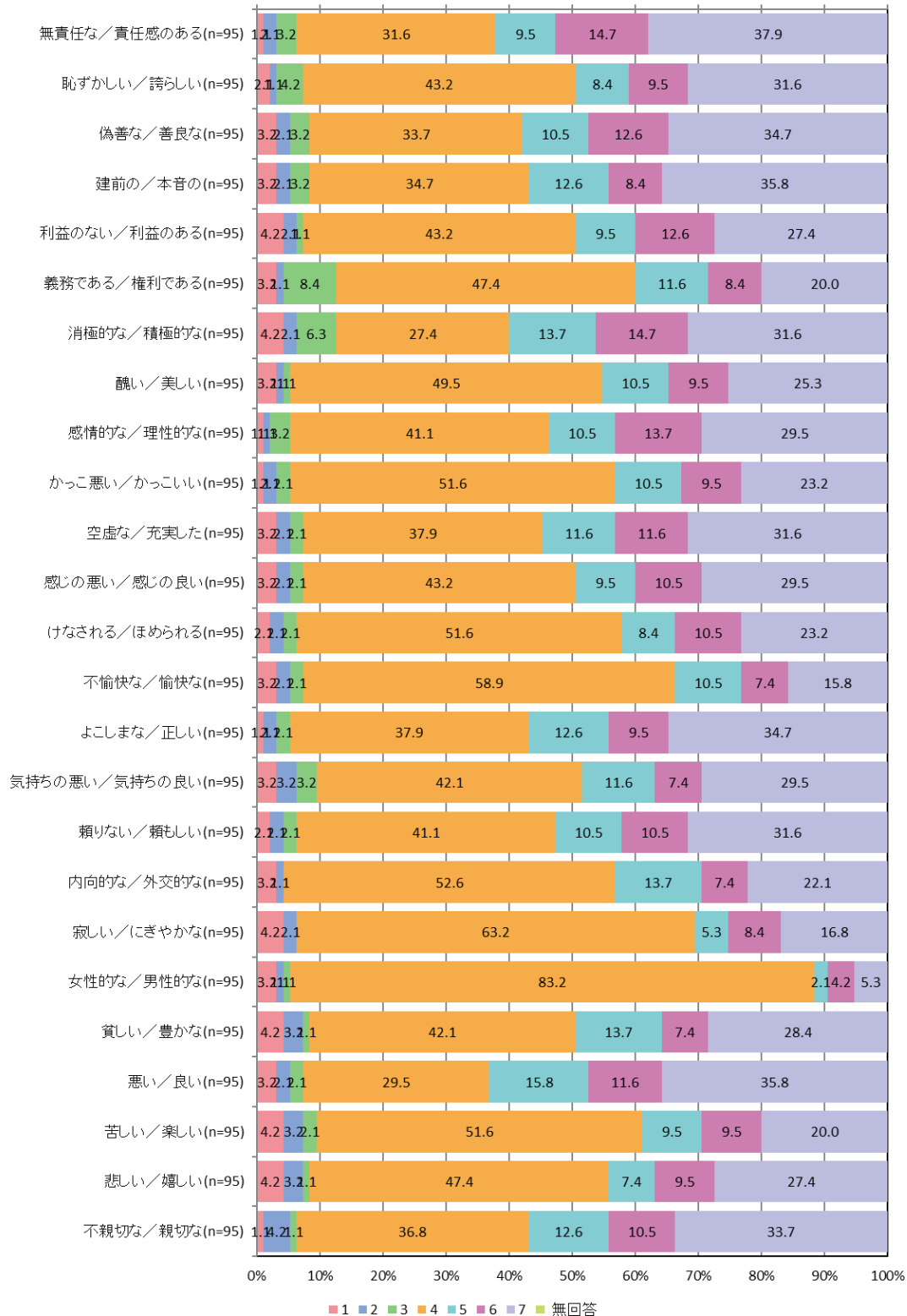
Q19. あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈することになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体が寄贈する場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）

（注：左端がネガティブ、右端がポジティブとして7件法で回答）



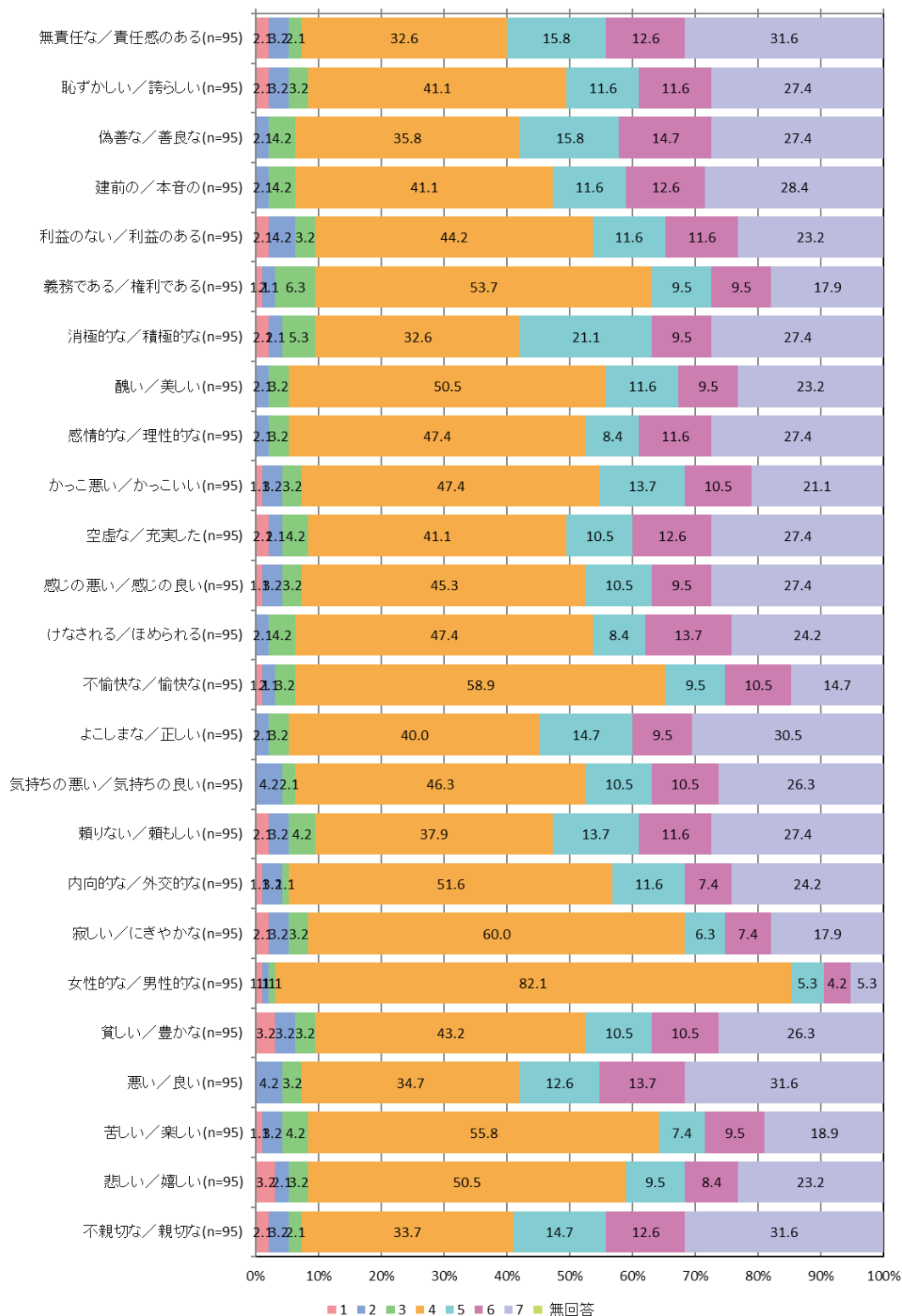
Q20. あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を受け入れることになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体がメーカー等から受け取る場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）

（注：左端がネガティブ、右端がポジティブとして7件法で回答）



Q21. ほかの団体が何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈していますが、あなたの団体はこの取り組みには参加していません。ほかの団体の寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を他の団体が寄贈している場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）

（注：左端がネガティブ、右端がポジティブとして7件法で回答）



本事業を Q19 から Q21 までの 3 つのケースについて、それぞれについての感じ方に相違があるのかどうかを一元配置分散分析（ANOVA）により検証した。その結果、すべての項目について、有意差（ $P < 0.05$ ）は認められず、どのような立場でもあんしん期限の取り組みに対する評価に差はないことが示された。中間支援団体という立場においては、所属団体中心の発想をしたり、他の団体と差別化するような考え方ではなく、あくまでも最終受益者の意向に沿うように努力している様子がうかがえる。但し、後述するように最終受益者の気持ちを正確に把握したうえで活動ができているといえない面もあり、寄付するうえでの態度や説明などを通じて寄付するドナー側の意思を伝える努力を促す必要性も示唆された。

Q19	あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈することになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体が寄贈する場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）						
Q20	あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を受け入れることになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体がメーカー等から受け取る場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）						
Q21	ほかの団体が何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈していますが、あなたの団体はこの取り組みには参加していません。ほかの団体の寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を他の団体が寄贈している場合について、どのように感じますか？（貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください）						

NO.	N=95	平均			標準偏差			ANOVA P値
		Q19	Q20	Q21	Q19	Q20	Q21	
1	【無責任な／責任感のある】	5.40	5.42	5.21	1.52567	1.51993	1.54984	0.5809
2	【恥ずかしい／誇らしい】	5.01	5.09	5.01	1.57436	1.55107	1.54710	0.9116
3	【偽善な／善良な】	5.16	5.23	5.19	1.61322	1.62725	1.39371	0.9473
4	【建前の／本音の】	5.06	5.20	5.14	1.66190	1.63473	1.42628	0.8362
5	【利益のない／利益のある】	4.76	4.99	4.86	1.58259	1.60779	1.52713	0.5973
6	【義務である／権利である】	4.49	4.68	4.68	1.49377	1.48942	1.37038	0.5839
7	【消極的な／積極的な】	5.01	5.15	5.06	1.76548	1.67566	1.50750	0.8474
8	【醜い／美しい】	4.93	4.93	4.93	1.51757	1.50349	1.36243	#NUM!
9	【感情的な／理性的な】	4.96	5.18	5.06	1.43598	1.45118	1.42030	0.5700
10	【カッコ悪い／カッコいい】	4.93	4.89	4.85	1.37796	1.41025	1.41398	0.9360
11	【空虚な／充実した】	5.09	5.14	5.03	1.55792	1.59528	1.53299	0.8965
12	【感じの悪い／感じの良い】	5.00	5.03	4.99	1.57101	1.58754	1.49819	0.9813
13	【けなされる／ほめられる】	4.73	4.86	5.00	1.41001	1.47035	1.39909	0.4185
14	【不愉快な／愉快的な】	4.48	4.57	4.64	1.35162	1.38112	1.28755	0.7193
15	【よこしまな／正しい】	5.20	5.26	5.18	1.44840	1.50326	1.42156	0.9178
16	【気持ちの悪い／気持ちの良い】	4.89	4.96	5.00	1.59436	1.61717	1.45134	0.8957
17	【頼りない／頼もしい】	5.06	5.14	5.02	1.49332	1.54789	1.55042	0.8701
18	【内向的な／外交的な】	4.88	4.83	4.88	1.36727	1.44143	1.43559	0.9572
19	【寂しい／にぎやかな】	4.55	4.56	4.59	1.38202	1.44189	1.41041	0.9774
20	【女性的な／男性的な】	4.04	4.14	4.23	0.95556	0.99585	0.89267	0.3892
21	【貧しい／豊かな】	4.83	4.94	4.92	1.56186	1.62958	1.58895	0.8905
22	【悪い／良い】	5.27	5.31	5.23	1.66594	1.59836	1.49077	0.9497
23	【苦しい／楽しい】	4.61	4.67	4.69	1.47529	1.53984	1.39965	0.9193
24	【悲しい／嬉しい】	4.91	4.88	4.79	1.60500	1.63644	1.52214	0.8666
25	【不親切な／親切的な】	5.25	5.22	5.20	1.62408	1.54492	1.55468	0.9735

(3) 本事業に対するコメント

Q23では、本事業に関する自由回答を聞いた。下記にその内容を示す。まず、ネガティブな回答（6件）は、下記の通りであった。

【ネガティブな意見】

取扱規模	コメント
1 トン未満	あまり本音を根掘り葉掘り聞いてほしくなかった。食品ロス削減を理解しつつ、劣位な気持ちを拭えない。
1 トン以上～5 トン未満	資源を無駄にしないという意味では、必要なことと思いますが、現状ではだれにでも理解され、受け入れられるわけではないと考えます。
10 トン以上～30 トン未満	まず先に一般の人々にこの「あんしん検査済みステッカー」が受け入れられることが先決で、それが浸透してからでないと弊団体に扱うのは難しいと考えます。扱っている食品の約7割が購入して寄付されたもので、フードロスに該当する品物が少ない現状で「あんしん検査済みステッカー」があったとしても、困窮者だからこんなものを渡されると感じる方が多いのではないかと思います。それからチェックする項目がないので有給スタッフ1～2人のところにチェックを入れましたが、正しくは全員無給で有給スタッフはゼロです。ゼロという選択肢も加えていただきたいと思います。
30 トン以上～50 トン未満	形容詞を並べた設問について、肯定的、否定的どちらにしてもしっくりこない言葉が多く、答えるのが難しかったです。賞味期限について、個人的には多少切れていたとしても食べています。が、支援を必要とする方にお渡しする時には、それを受け取った方がどのように感じるかについて、配慮が必要だと思います。一般に賞味期限が切れた食品のイメージがよくない中で、困窮者だからよいだろうという考え方は疑問です。
50 トン以上 100 トン未満	期限が切れる前に提供する仕組みを構築してほしい。
100 トン以上	食品を提供する際は、もし自分が受取る側だった場合に不快に思わないことを基準にして考えるようボランティアに伝えている。その点で、自分がステッカーが貼ってある食品を受け取ることを想定すると、食べられることが分かっているだけでも良い気分はしないため、提供することにも躊躇がある。

ポジティブなコメントについては、下記の通り 36 件の回答が得られた。

【ポジティブな意見】

取扱規模	コメント
1 トン未満	フードロスに向けた取り組みを進めるうえで、「あんしん検査済みステッカー」の意義を説明し、了承を得られた方に対して提供する、ということであれば、とても良い内容だと思います。ただ、提供者から拒まれることも考えられることから、現場での説明の仕方次第なのかとも感じます。
1 トン未満	賞味期限切れの表示があるとしても提供ができませんが、困窮者には場合によっては上記を説明して了解得て提供したこともある。個人的には全く問題ないと思います。
1 トン未満	専門機関へ検査依頼をすることで、安心できるものとなり、さらにフードロス削減につながる。
1 トン未満	このような取り組みができてとても良いと思います。
1 トン未満	とても良い取り組みだと思うので、ぜひ実現してほしいです。
1 トン未満	このようなアンケート調査ははじめてなので、終始一貫した回答になっていないのではと思っています。コロナ禍で運営費等増加の一方で食品等寄贈は減少しており、多少の賞味切れがあっても受益者にきちんと説明をすることで理解が得られると思います。今後も応募して利用させてもらえたらありがたいです。
1 トン未満	当方では、期限切れであっても、食品の種類によっては問題ないと考えます。そうした提供品は基本的に受け入れますのでどうぞ宜しくお願いします。
1 トン未満	食糧危機もいつくるのかわからないような時代です。食品ロス。このような言葉があるだけでとても悲しくなりますね。どんどんこのような活動はしていただきたいです。
1 トン未満	寄贈する立場としても、安心済ステッカーが貼ってあることでとても渡しやすく有難いです。
1 トン未満	今は特に、コロナの影響で生活困窮されている方が急増しています。1 度の支援では済まず、複数回支援する事も多いので期限当日の物でも、本人の了承を得た上でお渡ししています。
1 トン未満	フードロスを無くし、食べられる範囲内の期限切れは、受け取り相手様に説明をしてご納得いただけるようにしたら大丈夫だと思います。
1 トン未満	捨てるのはもったいないので、子ども食堂で活用しますが、寄贈するときには少し説明が必要ですね。
1 トン未満	自分ではなく、他者に、特に子どもたちが食べるので、安全が保障できるならば、良いと考えます。
1 トン未満	賞味期限が切れたからといって食べられないことはない。日本は廃棄することが多すぎる。 あんしん検査済みステッカーがあれば、気持ちもいい。

1 トン未満	賞味期限切れの食材品を、以前間違えて配布してしまった経験があります。 1軒1軒 確認するために訪問したところ、処分していた家庭もありました。 その家庭により感覚も違います。 食品ロスなどを考慮すると食べて貰いたい！！気持ちで一杯ですが食材にもよるかと思います。 また、子どものころから食材の使い方・食材を大切に作る心を育てていきたいですね～ あんしん検査済みステッカー おおいに活用したいと思います。
1 トン未満	素晴らしいアイデアだと思います。
1 トン未満	個人的にはとても素晴らしいと思います。 団体としてお渡しするにあたり、賞味期限を気にされる方も多く見えるので、検討させてください。
1 トン未満	再生可能な取り組みに賛同します。
1 トン未満	賞味期限切れでも、実際、私自身、食べたこともあり、最終的には、食べることも(こどもの保護者)の判断だと思うので、十分な説明があれば、賞味期限切れの食品をこども食堂の利用者に渡すことには抵抗はありません。 むしろ、こどものニーズに合った種類の食品かどうかで、判断しています。
1 トン未満	・賞味期限切れの商品を提供したことはないが、多くの主婦が自宅で使っているもので心配は少ないと感じている。そこにステッカーで安心が付随してくると思うと心強いです。
1 トン未満	賞味期限が曖昧な食品も多いと聞きます。私どもだけでなく、受取手の理解も進み、あんしん検査済みステッカーや賞味期限の延長が当たり前を検討される世の中になるといいですね。
1 トン未満	検査済みステッカー等が認知され、広がっていくとフードロスを減らす良い取り組みになると思います。
1 トン未満	食料品の廃棄を少なくするためには、良い方法と思います。
1 トン未満	いいことだと思う。これからも続けて欲しい。
1 トン未満	賞味期限を管理し、必要な所へ無駄なく配分するようにしていますが、賞味期限などあまり問題なく食べられると思っていても、人へ渡す際気になるので、基本は2か月以上あってもらいますが、渡す際にこれだけ伸びると助かります。
1 トン未満	なかなかうまくイメージ出来ず、すみません。 賞味期限が切れていても、味や健康管理的に問題が無いのであれば、もったいないをありがとうへ、変換できる様な仕組みや世間の風潮？や理解が伴えば、なお素敵な事だとも思いました。 まとまりません。 ありがとうございます。
1 トン以上～5 トン未満	いつも食品寄贈ありがとうございます。当団体は賞味期限切れでも全く問題ありません。啓蒙活動も実施しています。ステッカー素晴らしいです。 あと、アンケート用紙に QR コードを付けてくれると嬉しいです。Web ページの URL を直接入力大変でした。

1 トン以上～5 トン未満	一部の方は否定的に受け取るかもしれないが、全体としては問題はないと考えと思っています。
1 トン以上～5 トン未満	何の問題もないと思います
1 トン以上～5 トン未満	こういったステッカーはとてもありがたいです。賞味期限が少し切れているだけでもパントリー で残ったり、支援先からわざわざ「賞味期限切れていましたから捨てました」などと連絡が入ります。賞味期限は消費期限ではないと説明しても理解が得られないことが多々ありましたが、ステッカーがあれば皆さん納得して食べてくれると思います。
1 トン以上～5 トン未満	あんしん検査済みステッカーの仕組みにより、活用可能な食品の幅が広がると感じます。
1 トン以上～5 トン未満	賞味期限が切れたものや、近いものでも、それも含めてお伝えした上で受入可能なご家庭に、ご自身で選択できる状況でお渡ししています。 ですが、長期保存のものがいきなり腐るわけでもないで、ほとんどの方(返答がない方もありますが、それが期限を気にされてか商品の好み合わないからかはわからないので)が気にせず、逆に『助かります』などのお声をいただくことが多いです。お渡しの際、間に、どこかの機関が入ると、私たちからのお渡し品だとしてもストップをかけられたりすることもありましたが、心配な方は置いて帰ってくださって OK ということや、こちらから支援の方々に賞味期限のことも踏まえてお伝えしたところ、どなたも置いて帰られませんでした。 多少の古さよりも、たちまちの生活の食料がある安心の方がいいんだろうかな～と、フードパントリーを重ねてきた中で感じています。 支援家庭のリアルな毎日と、配る側の慎重な行動との温度差も感じます。 なので、ステッカーは、お家の方たちのためもありますが、他機関からみたら、それが貼ってあるだけでも安心できるということで、私達への制限も柔らかくなればいいなと思っています。は
5 トン以上～ 10 トン未満	賞味期限が切れていても食べられるものはたくさんあると思います。「あんしん検査済み」ステッカーがあれば、必要としている方に安心して配れるかと思っています。是非、今回のようなケースがあれば、積極的に取り組みたいと思います。
10 トン以上～ 50 トン未満	環境、食品ロス配慮し、寄贈側、利用側お互いに承知した上で食品の有効利用が必要とされている。とても良い試みです。
50 トン以上 100 トン未満	かねてより、賞味期限について疑問を感じていたのであんしん検査済みステッカーはとても画期的で素晴らしい取り組みだと思い、応援しています。
100 トン以上	まごころから、応援しています。どうか、一緒にチカラを合わせてまごころエナジーパートナーを築かせてくださいお願いします。

【どちらともいえない】

本事業には、最終受益者の感じ方が分からない、社会的評価が定まっていないなどの理由で、判断できないというコメントが8件寄せられた。

取扱規模	コメント
1 トン未満	あんしん検査済みステッカーの取り組みは良い活動だと思います。こども達に配布するのには少し考えたいと思っています。
1 トン未満	「あんしん検査済みステッカー」の取り組みは有意義だと思う。ただし、ステッカーが貼付されたものであっても、その後、活用できるか否かは受領する側の認識に関わる部分でもあり、難しい問題だと感じる。
1 トン未満	私個人としては、「賞味期限」により食品が廃棄されることのないシステムを歓迎しますが、それぞれ感じ方・考え方があるので、寄贈する相手はどう感じるかというのが一番気になります。あんしん検査済みステッカーが世の中に広く知られるようになり、世間の考え方が変わると良いと思います。
100 トン以上	あんしん検査済みステッカーが賞味期限切れ以上の市民権を得るには時間がかかりますが、「食品ロス削減」の意味からもパラダイムの変換は重要です。
100 トン以上	案として積極的に賛成です。ただし、特定の団体への利益供与が起きない監査システムを併設することが必要です。
1 トン未満	受け取る側が「あんしん検査済みステッカー」食品でもかまわないのであれば、フードロスに対しても有効な方法であると感じる。
10 トン以上～ 50 トン未満	<p>① あんしん検査済みステッカーは、食品ロスを減らす効果となることは、理解できる。(提供する側も、配る側も、またいただく人達にも)</p> <p>② ただし、ステッカーは第二の賞味期限設定となるので、これが常態化すると、本来の賞味期限設定の意義が問い直されることとなる。</p> <p>③ ステッカーとは別に、食品提供、受領、配付等の食料支援推進・フードロス解消のシステム、サイクルの基本的な改善策が進められる必要を感じる。</p> <p>④ 食料支援活動の末端組織では、常温食の賞味期限の残期間は1か月程度が多く、その配付に追われがちとなっている。1か月を切るものの提供品は、さらに忙しい。</p> <p>⑤ 組織の形態、規模、配付対象やその数量、方法等により組織ごとの対応に違いはあるが、末端にある本会としては賞味期限2か月程度の残期間があると計画的な配付体制がとりやすい。</p> <p>⑥ 野菜や冷蔵品等の賞味期限が短い食品はいただく人たちには、人気があるが、配る側は、保管設備や配付期間に苦労している。これらの食品は、安心ステッカーの適用はむずかしいと思う。</p> <p>⑦ 自治体、公的機関、事業所等の備蓄食品等の管理やフードバンク等への提供はどのようにされているか。保管管理・提供(先)等システム化されているか、担当者の判断、対応にゆだねられることが多いのか、提供時期、賞味期限の長短などにバラつきが見られる。</p> <p>⑧ 公的機関、事業所などで、備蓄食品は期限到来を前にフードバンク等への提供があらかじめ想定されている場合は、提供側と受領側が、保管や入出庫の管理</p>

	<p>情報を共有、マッチングするなどし、受領側の配付対応がしやすい時期、フード廃棄とならない期間に提供をしてもらうような関係、連携、対応はできているのだろうか。</p>
<p>10 トン以上～ 50 トン未満</p>	<p>有効に食品を活用していただくという考え方はとても良いと感じるが、受け取る方がどう感じるのか分からない為、検討が難しい。</p>

4. 結論

本調査では、立場が異なる者同士でのあんしん期限ステッカーが貼られた食品の一部が賞味期限切れだった場合に受ける感情について、可能な限り具体的な検討を試みた。一部の回答者からは、感情を言語化することに抵抗感があり「根掘り葉掘り聞かないでほしい」「意図が分からない」という意見もあった。しかし、その実態は中間支援団体のタイプを問わず、本事業に対しては総じてポジティブな評価が得られた。一方で、ネガティブな感情を持つ団体が一部に存在することも明らかとなり、その多くは困窮者支援だから許されるという考え方は受け入れられないというものであった。アドバイザーによると「その活動に対するプライドや格差を再認識させられることが大きな課題として立ちはだかつており、そのような社会的な共通認識を払しょくする必要があるだろう」との指摘があった。以下、アドバイザーによる総括を示す。

* * *

提供者、最終受益者、他の事業者による寄付の3つの異なる立場によって、本事業に対する感じ方が異なるという仮説については、統計的には認められなかった。本事業に対する一部の批判については、このようなドナーと最終受益者、中間支援団体全体が、共通の価値観で行動するべきであるという規範的なものが根底にあるのかもしれない。

本来ならば、多様な最終受益者がおり、それに応じて様々な支援策を講ずる多様な団体が存在する社会の方が望ましい。しかし、積極的かつ戦略的に他の団体と異なる食料支援方法を実践したり、最終受益者の感情に入り込むことをタブー視して食品ロスに対してネガティブな感情を持ったりすることがあるとすれば、一部の団体が他の団体に介入するなどして本事業の普及には大きな困難が伴うことが予想される。

一方で、ポジティブな意見の中には、実際に賞味期限切れの食品を寄付しても、最終受益者の責任で持ち帰る（不要なら置いていってもらおう）ような取り組みを経て、最終受益者が選択できれば問題ないと認識するに至るような意見も見受けられた。このケースは、最終受益者が食品を受け取った際の感情をドナーが深く観察し、理解する努力が重要であることが示唆される。本事業に対し、ポジティブな面とネガティブな面の二面的な感情を抱く意見もあったが、その多くはステッカー付食品を寄付したいが、最終受益者がどのように感じるかは分からないためにドナーとしても不安であるというものであった。現地調査でも感じられることであるが、最終受益者の心理を推し量ることは重要だが、極めて難しいことも理解しなければならないだろう。

大多数の団体において共通する課題は、賞味期限切れとなった理由や、それを活用する意味、そしてそれがまだ十分に食べられるものであることを、それを社会的な共通認識にすることである。特に、本事業がすべての食品が賞味期限切れであるという前提ではないことを理解してもらったり、その目的が事務手続きやリードタイムの短縮という、フードバンクのシステムの合理化する点にあることは、何度も繰り返して納得してもらいが必要があり、その点では政策的な後押しも必要となるかもしれない。

本事業の普及には、「賞味期限切れを寄付する」という事実だけがひとり歩きしないよう、分かりやすい仕組みづくりと、根気よく丁寧な説明が重要となる。

アドバイザー 愛知工業大学 小林富雄教授

別添1 本調査（アンケート）のスケジュール

No.	項目	1月																														2月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
		1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	ご発注【貴団体】				●	●	●	●																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				</

資料：マイボイス社

注：貴団体は申請者（非常食推進機構）、弊社はマイボイス社を示す。

別添 2 本調査アンケート概要

賞味期限切れ食品の寄贈に関するアンケート調査にご協力ください

■実施体制

本調査は、**消費者庁**の委託する「地方消費者行政に関する先進的モデル事業（賞味期限の超過した食品を安全・安心に消費できる期限「あんしん期限」認証を前提とする「生活応援食品」の流通システム構築と、その普及に関する社会心理学的検証）」の一環として受託先の**公益社団法人日本非常食推進機構**が実施するものです。

■現状

災害用備蓄食品は、災害等がなければ定期的に入れ替えられるため、賞味期限が切れる前に古くなった食品の多くは廃棄されてしまいます。民間企業の一部や国の災害用備蓄食品については、食品ロス削減及び生活困窮者支援等の観点から有効に活用するための取り組みが進んでいます。

■課題

しかし、在庫管理や輸送などに時間がかかり、賞味期限をわずかに超えただけでも引き取ってもらえません。また、賞味期限内に寄贈を完了しようとするあまり、**寄付者（ドナー）の作業負担が大きくなったり、寄贈をあきらめたりするケース**も発生しています。

■検証内容

本モデル事業では、このような寄贈に伴う業務を効率化するために、賞味期限をわずかに経過したものでも有効活用する仕組みとして、衛生検査を受け、まだ食べられることを確認した災害用備蓄食品に、賞味期限から60日、90日後まで食べられることを示した「**あんしん検査済み**」ステッカーという第二の期限設定について、検証を進めています（下図）。万が一事故があった際の**PL保険**もついており（参考資料参照）、性質としては通常商品とまったくそん色ない食品の寄付システムです。しかし、ごく一部の方から「福祉と結びつける必要があるのか」「自分では食べてもいいが、他人に渡すことはできない」という厳しいご意見をいただいています。

しかしながら、このような災害用備蓄食品は、有償による提供が難しく寄贈も重要な活用方法として検討を進める必要があります。ご多忙中大変心苦しいのですが、参考資料をご参照の上、ぜひご意見をお聞かせいただきたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



図：「あんしん検査済ステッカー」と実際に張り付けた写真

参考資料「PDFファイル」

https://www.myvoice.co.jp/voice/kobetu/20210713_file220119.pdf

別添3 本調査アンケート単純集計

Q1. 活動を担う貴団体の法人格をお教えてください。

		回答数	%
Q1	認定非営利活動法人(認定NPO法人)	2	2.1
	その他の非営利活動法人(NPO法人)	12	12.6
	社会福祉協議会	46	48.4
	任意団体	26	27.4
	地方自治体	-	-
	社会福祉法人	3	3.2
	社団法人(一般社団法人・公益社団法人)	4	4.2
	財団法人(一般財団法人・公益財団法人)	-	-
	その他団体	2	2.1
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q2. 団体の所在地をお教えてください。

		回答数	%
Q2	北海道	4	4.2
	青森	-	-
	岩手	-	-
	宮城	-	-
	秋田	1	1.1
	山形	-	-
	福島	8	8.4
	茨城	4	4.2
	栃木	1	1.1
	群馬	3	3.2
	埼玉	1	1.1
	千葉	1	1.1
	東京	12	12.6
	神奈川	1	1.1
	新潟	1	1.1
	富山	1	1.1
	石川	-	-
	福井	-	-
	山梨	1	1.1
	長野	2	2.1
	岐阜	3	3.2
	静岡	1	1.1
	愛知	8	8.4
	三重	9	9.5
	滋賀	1	1.1
	京都	3	3.2
	大阪	8	8.4
	兵庫	1	1.1
	奈良	3	3.2
	和歌山	2	2.1
	鳥取	1	1.1
	島根	2	2.1
	岡山	-	-
	広島	2	2.1
	山口	-	-
	徳島	-	-
	香川	2	2.1
	愛媛	-	-
	高知	2	2.1
	福岡	1	1.1
	佐賀	2	2.1
	長崎	-	-
	熊本	2	2.1
	大分	-	-
	宮崎	-	-
	鹿児島	1	1.1
	沖縄	-	-
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q3. 代表者の満年齢(2022年1月1日時点)をお教えてください。

		回答数	%
Q3	29歳未満	1	1.1
	30～39歳	2	2.1
	40～49歳	19	20.0
	50～59歳	13	13.7
	60～69歳	26	27.4
	70～79歳	29	30.5
	80歳以上	5	5.3
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q4. 代表者の性別をお教えてください。

		回答数	%
Q4	男性	63	66.3
	女性	31	32.6
	その他	1	1.1
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q5. 団体設立時期をお教えてください。

		回答数	%
Q5	1999年12月31日より前	41	43.2
	2000年1月1日～2004年12月31日	4	4.2
	2005年1月1日～2009年12月31日	10	10.5
	2010年1月1日～2014年12月31日	5	5.3
	2015年1月1日～2019年12月31日	29	30.5
	2020年1月1日以降	6	6.3
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q6. 食品の寄贈活動の開始時期をお教えてください。

		回答数	%
Q6	1999年12月31日より前	2	2.1
	2000年1月1日～2004年12月31日	1	1.1
	2005年1月1日～2009年12月31日	4	4.2
	2010年1月1日～2014年12月31日	5	5.3
	2015年1月1日～2019年12月31日	61	64.2
	2020年1月1日以降	22	23.2
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q7. 食品の寄贈活動に取り組むスタッフ数(2022年1月1日時点)をお教えてください。

		回答数	%
Q7	1～2名	25	26.3
	3～5名	22	23.2
	5～9名	23	24.2
	10名～19名	17	17.9
	20名～49名	6	6.3
	50名～99名	1	1.1
	100名以上	1	1.1
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q8. Q7のスタッフ数のうち、有給スタッフ数(2022年1月1日時点)をお教えてください。

		回答数	%
Q8	1～2名	47	49.5
	3～5名	20	21.1
	5～9名	8	8.4
	10名～19名	5	5.3
	20名～49名	2	2.1
	50名～99名	-	-
	100名以上	-	-
	無回答	13	13.7
	合計	95	100.0

Q9. 有給スタッフの男女比(2022年1月1日時点)をお教えてください。

		回答数	%
Q9	女性が多い(60%以上)	39	41.1
	半々くらい(男性が41%~59%)	33	34.7
	男性が多い(60%以上)	12	12.6
	無回答	11	11.6
	合計	95	100.0

Q10. 全国組織への加盟状況(2022年1月1日現在)をお教えてください。

		回答数	%
Q10	加盟している → 組織名称:	39	41.1
	加盟していない	56	58.9
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q11. 取扱寄付食品量(トン/2020年度)をお教えてください。

		回答数	%
Q11	1トン未満	66	69.5
	1トン以上~5トン未満	11	11.6
	5トン以上~10トン未満	4	4.2
	10トン以上~30トン未満	5	5.3
	30トン以上~50トン未満	2	2.1
	50トン以上100トン未満	3	3.2
	100トン以上	4	4.2
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q12. 取扱商品の種類をお教えてください。(複数回答)

		回答数	%
Q12	常温食品	95	100.0
	冷蔵・チルド食品	26	27.4
	冷凍食品	25	26.3
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q13. 食品の寄贈先をお教えてください。(複数回答)

		回答数	%
Q13	個人支援	94	98.9
	児童養護施設	16	16.8
	母子生活支援施設	17	17.9
	自立援助ホーム	7	7.4
	障害者施設	15	15.8
	生活困窮者支援団体	22	23.2
	シェルター	5	5.3
	グループホーム	8	8.4
	更生支援施設	7	7.4
	地方公共団体(福祉事務所等)	17	17.9
	災害支援団体	7	7.4
	学校外学習生活支援団体	11	11.6
	老人施設	10	10.5
	炊き出し	12	12.6
	他のフードバンク団体への提供	18	18.9
	その他の提供先	22	23.2
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q14. 常温保存可能な食品の賞味期限の受け入れ基準はどのように定めていますか?

		回答数	%
Q14	1週間以上	1	1.1
	2週間以上	1	1.1
	1か月以上	33	34.7
	2か月以上	10	10.5
	3か月以上	5	5.3
	数値化せずに、あいまいな表現で基準を示し	6	6.3
	基準はない	36	37.9
	その他	3	3.2
	無回答	-	-
	合計	95	100.0

Q15. 受け入れた寄付食品を廃棄する割合はどのくらいですか？

		回答数	%
Q15	まったく廃棄していない	62	65.3
	1-5%	28	29.5
	6-10%	3	3.2
	11-30%	1	1.1
	31-50%	-	-
	51%以上	-	-
	その他	1	1.1
	無回答	-	-
合計		95	100.0

Q16. コロナ禍以前と比較して活動はどのように変化しましたか？

		合計	増えた	変わらない	減った	無回答
Q16	【取扱量】	95	75	15	5	-
		100.0	78.9	15.8	5.3	-
	【スタッフ数】	95	30	57	8	-
		100.0	31.6	60.0	8.4	-
	【活動資金(収入)】	95	31	53	11	-
		100.0	32.6	55.8	11.6	-
	【活動費用(支出)】	95	49	43	3	-
		100.0	51.6	45.3	3.2	-

Q17. あんしん検査済みステッカーを用いた賞味期限切れ食品の寄贈について、貴団体はどのように感じますか？

注:1. とてもよい、7. とても悪いとして回答

		回答数	%
Q17_1	1	57	60.0
	2	14	14.7
	3	9	9.5
	4	10	10.5
	5	2	2.1
	6	3	3.2
	7	-	-
	無回答	-	-
合計		95	100.0

Q18. PL保険がついていることについて、貴団体はどのように感じますか？

注:1. とてもよい、7. とても悪いとして回答

		回答数	%
Q18_1	1	71	74.7
	2	13	13.7
	3	7	7.4
	4	3	3.2
	5	-	-
	6	1	1.1
	7	-	-
	無回答	-	-
合計		95	100.0

Q19. あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈することになりました。
あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。
あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体が寄贈する場合について、どのように感じますか？
(貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください)

注: 下記項目について、左端を1、右端を7とした7件法で回答		回答数 %	1	2	3	4	5	6	7	無回答
Q19	【無責任な／責任感のある】	95	2	2	2	26	15	14	34	-
		100.0	2.1	2.1	2.1	27.4	15.8	14.7	35.8	-
	【恥ずかしい／誇らしい】	95	2	3	4	38	12	8	28	-
		100.0	2.1	3.2	4.2	40.0	12.6	8.4	29.5	-
	【偽善な／善良な】	95	2	4	4	29	15	10	31	-
		100.0	2.1	4.2	4.2	30.5	15.8	10.5	32.6	-
	【建前の／本音の】	95	3	5	2	31	16	8	30	-
		100.0	3.2	5.3	2.1	32.6	16.8	8.4	31.6	-
	【利益のない／利益のある】	95	4	4	1	45	9	12	20	-
		100.0	4.2	4.2	1.1	47.4	9.5	12.6	21.1	-
	【義務である／権利である】	95	4	4	3	52	10	6	16	-
		100.0	4.2	4.2	3.2	54.7	10.5	6.3	16.8	-
	【消極的な／積極的な】	95	6	4	2	28	14	13	28	-
		100.0	6.3	4.2	2.1	29.5	14.7	13.7	29.5	-
	【醜い／美しい】	95	2	3	2	44	10	10	24	-
		100.0	2.1	3.2	2.1	46.3	10.5	10.5	25.3	-
	【感情的な／理性的な】	95	1	2	4	42	13	10	23	-
		100.0	1.1	2.1	4.2	44.2	13.7	10.5	24.2	-
	【かっこ悪い／かっこいい】	95	-	3	2	47	12	9	22	-
		100.0	-	3.2	2.1	49.5	12.6	9.5	23.2	-
	【空虚な／充実した】	95	2	4	1	34	18	7	29	-
		100.0	2.1	4.2	1.1	35.8	18.9	7.4	30.5	-
	【感じの悪い／感じの良い】	95	2	4	3	36	15	8	27	-
		100.0	2.1	4.2	3.2	37.9	15.8	8.4	28.4	-
	【けなされる／ほめられる】	95	2	2	2	54	7	10	18	-
		100.0	2.1	2.1	2.1	56.8	7.4	10.5	18.9	-
	【不愉快な／愉快的な】	95	2	4	2	59	8	6	14	-
		100.0	2.1	4.2	2.1	62.1	8.4	6.3	14.7	-
	【よこしまな／正しい】	95	-	2	4	37	12	10	30	-
		100.0	-	2.1	4.2	38.9	12.6	10.5	31.6	-
	【気持ちの悪い／気持ちの良い】	95	3	4	1	43	10	9	25	-
		100.0	3.2	4.2	1.1	45.3	10.5	9.5	26.3	-
	【頼りない／頼もしい】	95	1	4	1	39	13	11	26	-
		100.0	1.1	4.2	1.1	41.1	13.7	11.6	27.4	-
	【内向的な／外交的な】	95	1	2	3	45	12	14	18	-
		100.0	1.1	2.1	3.2	47.4	12.6	14.7	18.9	-
	【寂しい／にぎやかな】	95	2	4	1	59	6	8	15	-
		100.0	2.1	4.2	1.1	62.1	6.3	8.4	15.8	-
	【女性的な／男性的な】	95	3	3	1	77	6	1	4	-
		100.0	3.2	3.2	1.1	81.1	6.3	1.1	4.2	-
	【貧しい／豊かな】	95	3	3	1	49	7	8	24	-
		100.0	3.2	3.2	1.1	51.6	7.4	8.4	25.3	-
	【悪い／良い】	95	4	3	1	28	10	17	32	-
		100.0	4.2	3.2	1.1	29.5	10.5	17.9	33.7	-
	【苦しい／楽しい】	95	4	1	4	52	10	6	18	-
		100.0	4.2	1.1	4.2	54.7	10.5	6.3	18.9	-
	【悲しい／嬉しい】	95	4	2	2	43	9	10	25	-
		100.0	4.2	2.1	2.1	45.3	9.5	10.5	26.3	-
	【不親切な／親切な】	95	2	5	2	27	13	14	32	-
		100.0	2.1	5.3	2.1	28.4	13.7	14.7	33.7	-

Q20. あなたの団体が、何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を受け入れることになりました。あなたの寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を貴団体がメーカー等から受け取る場合について、どのように感じますか？
(貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください)

注:下記項目について、左端を1、右端を7とした7件法で回答		回答数 %	1	2	3	4	5	6	7	無回答
Q20	【無責任な／責任感のある】	95	1	2	3	30	9	14	36	-
		100.0	1.1	2.1	3.2	31.6	9.5	14.7	37.9	-
	【恥ずかしい／誇らしい】	95	2	1	4	41	8	9	30	-
		100.0	2.1	1.1	4.2	43.2	8.4	9.5	31.6	-
	【偽善な／善良な】	95	3	2	3	32	10	12	33	-
		100.0	3.2	2.1	3.2	33.7	10.5	12.6	34.7	-
	【建前の／本音の】	95	3	2	3	33	12	8	34	-
		100.0	3.2	2.1	3.2	34.7	12.6	8.4	35.8	-
	【利益のない／利益のある】	95	4	2	1	41	9	12	26	-
		100.0	4.2	2.1	1.1	43.2	9.5	12.6	27.4	-
	【義務である／権利である】	95	3	1	8	45	11	8	19	-
		100.0	3.2	1.1	8.4	47.4	11.6	8.4	20.0	-
	【消極的な／積極的な】	95	4	2	6	26	13	14	30	-
		100.0	4.2	2.1	6.3	27.4	13.7	14.7	31.6	-
	【醜い／美しい】	95	3	1	1	47	10	9	24	-
		100.0	3.2	1.1	1.1	49.5	10.5	9.5	25.3	-
	【感情的な／理性的な】	95	1	1	3	39	10	13	28	-
		100.0	1.1	1.1	3.2	41.1	10.5	13.7	29.5	-
	【カッコ悪い／カッコいい】	95	1	2	2	49	10	9	22	-
		100.0	1.1	2.1	2.1	51.6	10.5	9.5	23.2	-
	【空虚な／充実した】	95	3	2	2	36	11	11	30	-
		100.0	3.2	2.1	2.1	37.9	11.6	11.6	31.6	-
	【感じの悪い／感じの良い】	95	3	2	2	41	9	10	28	-
		100.0	3.2	2.1	2.1	43.2	9.5	10.5	29.5	-
	【けなされる／ほめられる】	95	2	2	2	49	8	10	22	-
		100.0	2.1	2.1	2.1	51.6	8.4	10.5	23.2	-
	【不愉快な／愉快的な】	95	3	2	2	56	10	7	15	-
		100.0	3.2	2.1	2.1	58.9	10.5	7.4	15.8	-
	【よこしまな／正しい】	95	1	2	2	36	12	9	33	-
		100.0	1.1	2.1	2.1	37.9	12.6	9.5	34.7	-
	【気持ちの悪い／気持ちの良い】	95	3	3	3	40	11	7	28	-
		100.0	3.2	3.2	3.2	42.1	11.6	7.4	29.5	-
	【頼りない／頼もしい】	95	2	2	2	39	10	10	30	-
		100.0	2.1	2.1	2.1	41.1	10.5	10.5	31.6	-
	【内向的な／外交的な】	95	3	1	-	50	13	7	21	-
		100.0	3.2	1.1	-	52.6	13.7	7.4	22.1	-
	【寂しい／にぎやかな】	95	4	2	-	60	5	8	16	-
		100.0	4.2	2.1	-	63.2	5.3	8.4	16.8	-
	【女性的な／男性的な】	95	3	1	1	79	2	4	5	-
		100.0	3.2	1.1	1.1	83.2	2.1	4.2	5.3	-
	【貧しい／豊かな】	95	4	3	1	40	13	7	27	-
		100.0	4.2	3.2	1.1	42.1	13.7	7.4	28.4	-
	【悪い／良い】	95	3	2	2	28	15	11	34	-
		100.0	3.2	2.1	2.1	29.5	15.8	11.6	35.8	-
	【苦しい／楽しい】	95	4	3	2	49	9	9	19	-
		100.0	4.2	3.2	2.1	51.6	9.5	9.5	20.0	-
	【悲しい／嬉しい】	95	4	3	1	45	7	9	26	-
		100.0	4.2	3.2	1.1	47.4	7.4	9.5	27.4	-
	【不親切な／親切な】	95	1	4	1	35	12	10	32	-
		100.0	1.1	4.2	1.1	36.8	12.6	10.5	33.7	-

Q21. ほかの団体が何らかの断れない理由で「あんしん検査済みステッカー」の貼ってある食品を寄贈していますが、あなたの団体はこの取り組みには参加していません。ほかの団体の寄付により受益者は、お腹いっぱいご飯を食べることができます。あんしん検査済みステッカー付きの期限切れ食品を他の団体が寄贈している場合について、どのように感じますか？
(貴団体を代表して、各項目について感じるままにご回答ください)

注: 下記項目について、左端を1、右端を7とした7件法で回答		回答数 %	1	2	3	4	5	6	7	無回答
Q21	【無責任な／責任感のある】	95	2	3	2	31	15	12	30	-
		100.0	2.1	3.2	2.1	32.6	15.8	12.6	31.6	-
	【恥ずかしい／誇らしい】	95	2	3	3	39	11	11	26	-
		100.0	2.1	3.2	3.2	41.1	11.6	11.6	27.4	-
	【偽善な／善良な】	95	-	2	4	34	15	14	26	-
		100.0	-	2.1	4.2	35.8	15.8	14.7	27.4	-
	【建前の／本音の】	95	-	2	4	39	11	12	27	-
		100.0	-	2.1	4.2	41.1	11.6	12.6	28.4	-
	【利益のない／利益のある】	95	2	4	3	42	11	11	22	-
		100.0	2.1	4.2	3.2	44.2	11.6	11.6	23.2	-
	【義務である／権利である】	95	1	2	6	51	9	9	17	-
		100.0	1.1	2.1	6.3	53.7	9.5	9.5	17.9	-
	【消極的な／積極的な】	95	2	2	5	31	20	9	26	-
		100.0	2.1	2.1	5.3	32.6	21.1	9.5	27.4	-
	【醜い／美しい】	95	-	2	3	48	11	9	22	-
		100.0	-	2.1	3.2	50.5	11.6	9.5	23.2	-
	【感情的な／理性的な】	95	-	2	3	45	8	11	26	-
		100.0	-	2.1	3.2	47.4	8.4	11.6	27.4	-
	【カッコ悪い／カッコいい】	95	1	3	3	45	13	10	20	-
		100.0	1.1	3.2	3.2	47.4	13.7	10.5	21.1	-
	【空虚な／充実した】	95	2	2	4	39	10	12	26	-
		100.0	2.1	2.1	4.2	41.1	10.5	12.6	27.4	-
	【感じの悪い／感じの良い】	95	1	3	3	43	10	9	26	-
		100.0	1.1	3.2	3.2	45.3	10.5	9.5	27.4	-
	【けなされる／ほめられる】	95	-	2	4	45	8	13	23	-
		100.0	-	2.1	4.2	47.4	8.4	13.7	24.2	-
	【不愉快な／愉快的な】	95	1	2	3	56	9	10	14	-
		100.0	1.1	2.1	3.2	58.9	9.5	10.5	14.7	-
	【よこしまな／正しい】	95	-	2	3	38	14	9	29	-
		100.0	-	2.1	3.2	40.0	14.7	9.5	30.5	-
	【気持ちの悪い／気持ちの良い】	95	-	4	2	44	10	10	25	-
		100.0	-	4.2	2.1	46.3	10.5	10.5	26.3	-
	【頼りない／頼もしい】	95	2	3	4	36	13	11	26	-
		100.0	2.1	3.2	4.2	37.9	13.7	11.6	27.4	-
	【内向的な／外交的な】	95	1	3	1	49	11	7	23	-
		100.0	1.1	3.2	1.1	51.6	11.6	7.4	24.2	-
	【寂しい／にぎやかな】	95	2	3	3	57	6	7	17	-
		100.0	2.1	3.2	3.2	60.0	6.3	7.4	17.9	-
	【女性的な／男性的な】	95	1	1	1	78	5	4	5	-
		100.0	1.1	1.1	1.1	82.1	5.3	4.2	5.3	-
	【貧しい／豊かな】	95	3	3	3	41	10	10	25	-
		100.0	3.2	3.2	3.2	43.2	10.5	10.5	26.3	-
	【悪い／良い】	95	-	4	3	33	12	13	30	-
		100.0	-	4.2	3.2	34.7	12.6	13.7	31.6	-
	【苦しい／楽しい】	95	1	3	4	53	7	9	18	-
		100.0	1.1	3.2	4.2	55.8	7.4	9.5	18.9	-
	【悲しい／嬉しい】	95	3	2	3	48	9	8	22	-
		100.0	3.2	2.1	3.2	50.5	9.5	8.4	23.2	-
	【不親切な／親切な】	95	2	3	2	32	14	12	30	-
		100.0	2.1	3.2	2.1	33.7	14.7	12.6	31.6	-

おわりに

令和元年 10 月に施行された「食品ロス削減の推進に関する法律」や SDG s で具体的な目標として言及されている食品ロスの問題への取組みにより全国的に行政や企業、消費者が食品ロス削減に貢献できる仕組みの中が次々と生まれ、行政や企業が保管する防災備蓄食品をフードバンクやこども食堂などの非営利活動団体へ寄付する動きが急速に増加している。同時に、これまでは賞味期限が超過し、廃棄処分されていた大量の食品の存在が明らかになりつつある。

本事業は「賞味期限はおいしく食べられる期限の目安」の「目安」についてこれまでは自己判断、自己責任において消費してきた食品の目安について、一歩踏み込んで消費者に提示できる方法を検証するものであった。

賞味期限間近または超過した食品について保管場所ごとに検体を取り、食品試験検査にかけ、安全性を確認したうえで、生産物賠償責任保険にて安心を担保した。

本モデル事業の検証結果により、「生活応援食品」の寄付を活発化させるためには、賞味期限切れとなった理由や、それを活用する意味、そしてそれがまだ十分に食べられるものであることを、様々な立場の人や幅広い世代の人へ繰り返し説明し、それを社会的な共通認識にすることが必要である。

今回対象とした防災備蓄食品は長期保存が可能であることにより、安全性は、比較的高いものではあるが、消費者の安全のため及び「あんしん期限」の信頼向上のため、今後の寄付にあたっては食品試験検査は継続して行うべきであると考ええる。

これまでであれば、廃棄処分となってしまう可能性のある食品を、安全性を確認したうえで、寄付するシステムの検証を続け、本事業は今後の横展開を期待する。

一方で可能な限り防災備蓄食品等の管理としてフードバンク等への寄付を見越した備蓄計画（余裕を持った入れ替え）を実施することも重要である。